# Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/005170

International filing date: 22 March 2005 (22.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP

Number: 2004-080950

Filing date: 19 March 2004 (19.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 28 April 2005 (28.04.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in

compliance with Rule 17.1(a) or (b)



# 日 本 国 特 許 庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

2004年 Date of Application: 3月19日

願 番 号

特願2004-080950 Application Number:

バリ条約による外国への出願 に用いる優先権の主張の基礎 となる出願の国コードと出願 番号

The country code and number of your priority application, to be used for filing abroad under the Paris Convention, is JP2004-080950

出 願 人

チッソ株式会社 Applicant(s): 藤森工業株式会社

> 2005年 4月13日

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office



【書類名】 特許願 【整理番号】 P-C40285 【あて先】 特許庁長官 殿 【国際特許分類】 C07K 14/745 【発明者】 【住所又は居所】 東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番16号 藤森工業株式会社 本社内 細川 和也 【氏名】 【発明者】 【住所又は居所】 東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番16号 藤森工業株式会社 本社内 【氏名】 鹿島 甲介 【特許出願人】 【識別番号】 0 0 0 0 0 2 0 7 1 【氏名又は名称】 チッソ株式会社 【特許出願人】 【識別番号】 0 0 0 2 2 4 1 0 1 【氏名又は名称】 藤森工業株式会社 【代理人】 【識別番号】 100100549 【弁理士】 【氏名又は名称】 川口 嘉之 【選任した代理人】 【識別番号】 100090516 【弁理士】 【氏名又は名称】 松倉 秀実 【選任した代理人】 【識別番号】 100089244 【弁理士】 【氏名又は名称】 遠山 勉 【手数料の表示】 【予納台帳番号】 192372 【納付金額】 21,000円 【提出物件の目録】 特許請求の範囲 【物件名】 1

【物件名】

【物件名】

明細書

要約書

1

1

# 【書類名】特許請求の範囲

#### 【請求項1】

野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビン基質結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下であるトロンビン誘導体。

# 【請求項2】

野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、ヒルジンC末端ペプチド結合能が野生型トロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下であるトロンビン誘導体。

# 【請求項3】

野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビンレセプター結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下であるトロンビン誘導体。

# 【請求項4】

野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビンレセプター結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、0.1MのNaClを含むpH7.4の50mMトリス塩酸中でトロンビン蛋白質基質と $37\mathbb{C}$ で3時間反応させたときに分解されるトロンビン基質の割合が10%以下であるトロンビン誘導体。

#### 【請求項5】

野生型トロンビンのアミノ酸配列においてB鎖の205番目のセリン、並びに、203番目のグリシン及び99番目のアスパラギン酸のいずれか一方又は両方のアミノ酸が置換されたアミノ酸配列を有するトロンビン誘導体。

#### 【請求項6】

前記205番目のセリンがアラニン、スレオニン又はグリシンのいずれかに置換されたアミノ酸配列を有する、請求項5に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項7】

前記205番目のセリンがグリシンに置換されたアミノ酸配列を有する、請求項5に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項8】

前記203番目のグリシンがアラニン、スレオニン又はセリンのいずれかに置換されたアミノ酸配列を有する、請求項5~7のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

# 【請求項9】

前記99番目のアスパラギン酸がアスパラギンに置換された、請求項5~8のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項10】

さらに、B鎖の43番目のヒスチジンが他のアミノ酸に置換された、請求項5~9のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項11】

さらに、ナトリウム結合部位のアミノ酸が置換された、請求項5~10のいずれか一項に 記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項12】

ナトリウム結合部位のアミノ酸がB鎖の232番目又は234番目のアスパラギン酸である、請求項11に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項13】

さらに、前記置換されたアミノ酸以外のアミノ酸において、1又は数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入又は付加され、ヒルジンC末端ペプチド結合能が野生型トロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下である、請求項5~12のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項14】

野生型トロンビンがヒト野生型トロンビンである、請求項1~13のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

# 【請求項15】

ヒト野生型トロンビンが配列番号2のアミノ酸配列を含む蛋白質である、請求項14に記載のトロンビン誘導体。

# 【請求項16】

カルボキシル基が修飾された請求項1~15のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体。

#### 【請求項17】

カルボキシル基がカルボジイミドによって修飾された請求項16に記載のトロンビン誘導体。

## 【請求項18】

請求項1~15のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体をコードするDNA。

#### 【請求項19】

請求項1~17のいずれか一項に記載のトロンビン誘導体を含有する医薬組成物。

# 【請求項20】

抗血栓剤である、請求項19に記載の医薬組成物。

#### 【請求項21】

抗炎症剤である、請求項19に記載の医薬組成物。

# 【請求項22】

トロンビンレセプター活性化抑制剤である、請求項 1 9 ~ 2 1 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

# 【書類名】明細書

【発明の名称】トロンビン誘導体、およびそれを含有する医薬組成物

# 【技術分野】

#### $[0\ 0\ 0\ 1\ ]$

本発明は、トロンビン誘導体、およびそれを含有する医薬組成物、特に抗血栓剤、抗炎症剤に関する。

#### 【背景技術】

#### [00002]

トロンビンは血小板凝集反応や炎症反応などを担う、トリプシンと非常に相同性の高いトリプシン様のセリンプロテアーゼである。例えば、非特許文献1には、トロンビンが、基質であるトロンビンレセプターターを活性化することによって血小板凝集反応や炎症反応を起こすことが記載されている。

# [0003]

トロンビンの生理的作用に関しては以下の様な報告がなされている。非特許文献2には、トロンビンの主だった血液凝固に関連する基質認識にエクソサイト | 領域が重要な働きをすることが記載されている。さらに、非特許文献3には、トロンビン基質蛋白質(以下トロンビン基質)結合能を有した不活性化トロンビンが野生型トロンビン同様にエクソサイト | 結合性のトロンビン基質に高い結合能を持つこと、ベンズアミジン等の活性中心へ立体障害となる物質の添加によりその結合能が失われることが記載されている。また、非特許文献4には、トロンビンなどのセリンプロテアーゼは、活性中心にセリン、ヒスチジン、アスバラギン酸を有しており、この3アミノ酸のチャージリレーシステムによりプロテアーゼ活性が発現され、セリンプロテアーゼのミカエリス複合体から4面複合体への進展にはグリシン193(193はトリプシン番号、トロンビンではB鎖 グリシン203にあたる)が関与していることが記載されている。

#### $[0\ 0\ 0\ 4]$

これらをもとに、抗血栓剤等の開発のために、様々なトロンビンの修飾・改変が試みられている。特許文献1には、セリンプロテアーゼと競争してセリンプロテアーゼの基質に結合することによって、該セリンプロテアーゼと該基質との反応を抑制する物質(以下「反応抑制物質」と言うことがある)を含有するセリンプロテアーゼ抑制剤が開示されている。さらに該文献には、このセリンプロテアーゼ抑制剤は、抗血栓剤(血栓形成抑制剤)として有効であることが記載されている。該文献には、該反応抑制物質の具体例として、セリンプロテアーゼであるトロンビンと、フェニルメチルスルフォニルフルオリド(以下「PMSF」と言うことがある)などの阻害剤とを反応させ、活性部位に存在するセリンをデヒドロアラニンに転換すること(以下「アンヒドロ化」と言うことがある)により、セリンプロテアーゼ活性が著しく低下したトロンビン誘導体(以下「AHT」と言うことがある)が開示されている。

# [0005]

また、特許文献 2 には、アンヒドロトロンビンのカルボキシル基とイミドとを反応させ、アンヒドロトロンビンを化学的に修飾したアンヒドロトロンビン誘導体(以下「MーAHT」と言うことがある)が開示されている。MーAHTは、血液中に大量に存在するフィブリノゲンへの結合能が選択的に低いことから、AHTに較べて高い抗血栓効果を有する。

#### [0006]

一方で、アミノ酸置換を有するトロンビン誘導体の研究も行われている。トロンビンの 遺伝子組み換えによる活性中心の置換体はこれまで下記のように幾つかの検討がなされて きた。

#### [0007]

例えば、非特許文献5には活性中心セリンをアラニンに置換したトロンビンを作製し白血球への影響が述べられている。この誘導体の活性に関しては活性を失ったトロンビン組み換え体と記載されている。また、非特許文献6には、トロンビンB鎖 203グリシン

をアラニンに置換したトロンビン、活性中心セリンをアラニン又はスレオニンに置換したトロンビン、活性中心ヒスチジンをアスバラギンに置換したトロンビン、活性中心アスバラギン酸をアスバラギンに置換したトロンビンが記載されている。この報告では、活性中心セリンをスレオニンに置換したトロンビン、活性中心ヒスチジンをアスバラギンに置換したトロンビン、活性中心とスチジンをアスバラギンに置換したトロンビン、活性中心では、野生型トロンビンに比較し数千から数万分の1に低下しているのに比較し、トロンビンB鎖203グリシンをアラニンに置換したトロンビン及び活性中心セリンをアラニンに置換したトロンビンに関しては活性が完全に失われたと報告している。しかしながら、これら報告のアミノ酸置換誘導体はトロンビン基質分解活性が残存している、あるいはトロンビン基質結合能が著しく低下している等により、抗血栓、抗炎症剤としての十分な機能を有していなかった。

【特許文献1】国際公開第01/03740号パンフレット

【特許文献2】国際公開第02/077031号パンフレット

【非特許文献 1 】 J. Biol. Chem. 261(1986)15928-15933

【非特許文献2】日本血栓止血学会誌 第10巻 2,3号(1999)

【非特許文献3】 Biochemical J. (2001) 354.309-313

【非特許文献4】 ヴォート生化学 上巻 1996年 p331-340 東京化学 同人

【非特許文献5】 Experimental cell research 219, 650-656(1995)

【非特許文献6】 Biochimica et Biophyscia Acta 1451(1999) 173-186

#### 【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

[00008]

AHTやM-AHTのように化学的手法により得られたトロンビン誘導体は、抗血栓効果や抗炎症効果を有しているが、セリンプロテアーゼ活性にばらつきがあり、AhTへ変換する際のアルカリ処理、再生処理等の多工程を必要とし、回収率も50から60%と十分ではないという改善すべき点があった。

#### [0009]

また、従来トリプシンにおいて報告されている多くの配列において活性中心のトロンビン置換体を作成したところ、抗血栓、抗炎症剤としての十分な機能を有していなかった。理由として、これら報告の置換体は抗血栓、抗炎症剤として用いる目的において実質的なトロンビン基質分解活性を有する、あるいは置換による影響で主にエクソサイト I の構造変化にともないトロンビン基質結合能が著しく低下している等の問題が考えられた。例えばBiochimica et Biophyscia Acta I451(1999) I73-186 の中で活性が完全に喪失したと報告される活性中心セリンをアラニンに置換したトロンビン及びB鎖203グリシンをアラニンに置換したトロンビン及びB鎖203グリシンをアラニンに置換したトロンビンは野鎖203グリシンをアラニンに置換したトロンビン基質の置換していた。さらに活性中心ヒスチジン及びアスパラギン酸の置換は活性をより低下させるものの、エクソサイト I の構造変化を招きトロンビン基質結合能が損なわれる場合があった。

本発明は、基質分解活性を実質的に欠き、かつ、十分な基質結合能を有する、抗血栓、 抗炎症剤として使用可能なトロンビン変異体を提供することを課題とする。

#### 【課題を解決するための手段】

#### $[0 \ 0 \ 1 \ 0]$

本発明者は前述の従来技術の問題点に鑑み鋭意研究を重ねた。その結果、トロンビンのアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が、遺伝子組換操作により置換されたトロンビンであり且つ抗血栓、抗炎症剤として用いる目的において実質的にトロンビン基質を分解しないレベルに活性が低下しており、且つトロンビン基質結合能を野生型トロンビンと同等に保持していればAhT同様の抗血栓、抗炎症効果が得られる事を見出した。

#### $[0\ 0\ 1\ 1]$

また、トロンビンの活性中心の置換方法についてさらなる検討を行ったところ、トロンビン誘導体において活性中心セリンの置換はアラニン、スレオニン、グリシンへの置換であればエクソサイト | の構造が保持されトロンビン基質結合能が保たれること、その中でもグリシンへの置換がスレオニン、アラニンに対する置換に比べより活性が低下した置換体が得られる事を見出した。さらに、トロンビンB鎖203グリシンと活性中心セリン(B鎖205)を同時に最適な組み合わせで置換する事で、エクソサイト | の構造及びトロンビン基質結合能を保持し、且つ抗血栓、抗炎症剤として用いる目的において実質的なトロンビン基質分解活性を喪失した、抗血栓、抗炎症効果を持ったトロンビン誘導体が得られる事を見出した。

さらにエクソサイト | の構造及びトロンビン基質結合能を保持する配列であれば99アスパラギン酸、44ヒスチジンの置換を行うこともでき、これによってさらに基質分解活性の低下したトロンビン誘導体が得ることができることを見出した。

#### $[0\ 0\ 1\ 2]$

本発明者はまた、上記変異体のナトリウム結合領域を置換あるいは修飾することによってさらにトロンビン基質分解活性を低下させることができることを見出した。さらに、上記トロンビン変異体のカルボシキル基を修飾することにより、トロンビン基質特異性がさらに限定され、より少ない使用量で良好な抗血栓効果を得ることができることを見出した。本発明者はそれらの知見に基づいて本発明を完成させた。

#### $[0\ 0\ 1\ 3]$

すなわち、本発明は、以下のとおりである。

- (1) 野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビン基質結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下であるトロンビン誘導体。
- (2) 野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、ヒルジンC末端ペプチド結合能が野生型トロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100分の1以下であるトロンビン誘導体
- (3) 野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビンレセプター結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の」以下であるトロンビン誘導体。
- (4) 野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビンレセプター結合能がアンヒドロトロンビンの1%以上であり、0.1MのNaC1を含むpH7.4の50mMトリス塩酸中でトロンビン蛋白質基質と37 $\mathbb C$ で3時間反応させたときに分解されるトロンビン基質の割合が10%以下であるトロンビン誘導体。
- (5) 野生型トロンビンのアミノ酸配列においてB鎖の205番目のセリン、並びに、203番目のグリシン及び99番目のアスパラギン酸のいずれか一方又は両方のアミノ酸が置換されたアミノ酸配列を有するトロンビン誘導体。
- (6) 前記205番目のセリンがアラニン、スレオニン又はグリシンのいずれかに置換されたアミノ酸配列を有する、(5)のトロンビン誘導体。
- (7) 前記205番目のセリンがグリシンに置換されたアミノ酸配列を有する、(5) のトロンビン誘導体。
- (8) 前記203番目のグリシンがアラニン、スレオニン又はセリンのいずれかに置換されたアミノ酸配列を有する、(5)~(7)のいずれかのトロンビン誘導体。
- (9) 前記99番目のアスパラギン酸がアスパラギンに置換された、(5)~(8)のいずれかのトロンビン誘導体。
- (10) さらに、B鎖の43番目のヒスチジンが他のアミノ酸に置換された、(5)  $\sim$  (9) のいずれかのトロンビン誘導体。
  - (11) さらに、ナトリウム結合部位のアミノ酸が置換された、(5)~(10)の

いずれかのトロンビン誘導体。

- (12) ナトリウム結合部位のアミノ酸がB鎖の232番目又は234番目のアスパラギン酸である、(11)のトロンビン誘導体。
- (13) さらに、前記置換されたアミノ酸以外のアミノ酸において、1又は数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入又は付加され、ヒルジンC末端ペプチド結合能が野生型トロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下である、(5)~(12)のいずれかのトロンビン誘導体。
- (14) 野生型トロンビンがヒト野生型トロンビンである、(1)~(13)のいずれかのトロンビン誘導体。
- (15) ヒト野生型トロンビンが配列番号2のアミノ酸配列を含む蛋白質である、( 14)のトロンビン誘導体。
- (16) カルボキシル基が修飾された(1)~(15)のいずれかのトロンビン誘導体。
- (17) カルボキシル基がカルボジイミドによって修飾された(16)のトロンビン誘導体。
  - (18) (1)~(15)のいずれかのトロンビン誘導体をコードするDNA。
  - (19) (1)~(17)のいずれかのトロンビン誘導体を用いてなる医薬組成物。
  - (20) 抗血栓剤である、(19)の医薬組成物。
  - (21) 抗炎症剤である、(19)の医薬組成物。
- (22) トロンビンレセプター活性化抑制剤である、(19) $\sim$ (21)のいずれかの医薬組成物。

#### 【発明の効果】

#### $[0\ 0\ 1\ 4]$

本発明のトロンビン誘導体は、従来の化学的手法により得られたトロンビン誘導体に比べて、より少ない使用量で安定な抗血栓効果を得ることが出来る。なぜならば、従来のAHTやMーAHTのように化学的手法により得られたものに比べ、得られるトロンビン誘導体個々のトロンビン基質分解活性やトロンビン基質結合能のはらつきが実質的に皆無であるからである。さらに、本発明のトロンビン誘導体は、AHTやMーAHTのようにトロンビンからアンヒドロ化、再生処理の多工程を経ずに高回収率で抗血栓、抗炎症作用をもった不活性化トロンビンを得ることができる。また、従来の変異体に比べても、トロンビン基質分解活性が低いため、より少ない使用量で安定な抗血栓効果を得ることが出来る。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### $[0\ 0\ 1\ 5]$

以下、本発明を詳細に説明する。

本発明のトロンビン誘導体は、野生型トロンビンのアミノ酸を1個もしくは数個置換して得られるトロンビン誘導体であって、トロンビン基質への結合能を保持し、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの活性よりも低下した誘導体である。ここで数個とは、2~20個、好ましくは2~10個、より好ましくは2~5個を意味する。

#### $[0\ 0\ 1\ 6]$

ここで野生型トロンビンとしてはヒトの野生型トロンビンが好ましく、配列番号 2 のアミノ酸配列を含むトロンビンがより好ましい。この配列はヒト野生型トロンビンの A 鎖及び B 鎖を含む配列である。なお、生体内では、トロンビンは、プロトロンビン(トロンビン前駆体)が  $X_2$  因子などのプロテアーゼによって切断され、 A 鎖(例えば配列番号 2 のアミノ酸番号  $1\sim4$  9の領域)及び B 鎖(例えば配列番号 2 のアミノ酸番号 5 0  $\sim3$  0 8 の領域)が 5-S結合によって架橋された立体構造を有している(血栓・止血・線溶 中外医学社 p 1 6 4 - 1 6 7 )。したがって、本発明におけるトロンビン誘導体は、生体内で前記構造をとることができるものであれば特に制限されず、 A 鎖及び B 鎖の両鎖を含むトロンビンだけでなく、遺伝子組換えや化学合成などで別々に作製された A 鎖と B 鎖が生体内に投与され、生体内で前記の A 鎖及び B 鎖が 5-S結合によって架橋された立体構造をとるようになったものも含む。さらに、生体内で前記の立体構造をとることのできるプロトロンビ

ンやプレトロンビンなどのトロンビン前駆体蛋白質も本発明のトロンビン誘導体に含まれる。

#### $[0\ 0\ 1\ 7\ ]$

本発明において、「トロンビン基質への結合能」とは、血液凝固第VIII因子やトロンビンレセプターなどのトロンビン蛋白質基質やその一部のペプチドに対する結合能を意味する。トロンビン蛋白質基質としてはトロンビンレセプターが血栓形成及び炎症作用の進行に非常に重要であり、実質的にはトロンビンレセプターのトロンビンによる活性化を抑制することで血栓形成及び炎症作用は充分抑制される。したがって、トロンビン蛋白質基質としてはトロンビンレセプターのトロンビン結合領域を含むペプチドが好ましい。

# $[0\ 0\ 1\ 8]$

また、「トロンビン基質への結合能」は、トロンビン蛋白質基質に保存されている領域 のアミノ酸配列を有するペプチド、例えば、ヒルジン〔末端ペプチドなどに対する結合量 を測定することによって確かめてもよい。トロンビンのエクソサイト | は多くの血栓形成 、炎症作用を持ったトロンビン基質蛋白質への結合に最も重要な役割を果たす必須の領域 として報告されている領域であるが(Journal of Biological Chemistry 1989 Vol 264 8 692-8698) 、ヒルジン(末端ペプチドはこのエクソサイト|に対し特異的に結合することが 知られる(Journal of Biological Chemistry 1991 Vol 266 23633-23636)。特に、血小 板活性化を通じて血栓形成に重要な働きを持つトロンビンレセプターはヒルジン(末端領 域に高い相同性を持ち、エクソサイト | へ強固に結合する事が報告されている。よってヒ ルジン(末端ペプチドに対する結合能を失っているものはエクソサイト|の構造が破壊され トロンビンレセプターをはじめとする多くのトロンビン基質への結合能を失っているもの と考えられる。ヒルジン(末端ペプチド(例えば、配列番号3)に対する結合能は、実施 例に示すようにヒルジンカラムへのトロンビン誘導体の結合量を測定することによって行 うことができる。本発明のトロンビン誘導体は、野生型トロンビン又はアンヒドロトロン ビンの1%以上、好ましくは10%以上、より好ましくは80%以上のトロンビン基質結 合能を保持していることが望ましい。ここで、アンヒドロトロンビンはトロンビンの活性 中心セリンが脱水酸化されたトロンビンであって、具体的には、国際公開第01/037 40号パンフレットの実施例1記載のアンヒドロトロンビンを例示することができる。

# [0019]

一方、本発明のトロンビン誘導体は、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの活性よりも低下していることが好ましいが、この「トロンビン基質分解活性」は、トロンビンレセプターなどの生体基質やS2238(シグマ社より入手可)などの合成基質を用いて測定することができる。

#### [0020]

本発明のトロンビン誘導体の活性は野生型トロンビンに比較しより一層低いレベルである事が望ましい。具体的には100万分の1以下、さらに望ましくは1000万分の1以下に低下していることが望ましい。トロンビンの生理的条件下における蛋白質基質活性化におけるkcat値は約100sec $^{-1}$ ほどにもなり、他多くの基質に対しても同等のkcat値を示す。ラット投与実験におけるアンヒドロトロンビン生体内薬効半減期は1時間以内であり、1000万分の1以下であれば抗血栓、抗炎症効果を目的としてトロンビン誘導体を投与した際、数時間にわたって蛋白性のトロンビン基質と結合した場合にもトロンビン誘導体のトロンビン基質分解活性が問題となることがないと考えられる。

#### $[0 \ 0 \ 2 \ 1]$

より具体的には、本発明のトロンビン誘導体は、例えば、実施例で示すような生理的条件下、3時間、トロンビンレセプターなどのトロンビン蛋白質基質と混合し反応させた場合の該基質の分解が10%以下のものを挙げることができる。上記条件であれば生体への投与後、本誘導体が代謝されるまでの間の本誘導体によるトロンビン基質活性化は問題にならないと考えられる。

#### [0022]

本発明のトロンビン誘導体は、通常の遺伝子変異導入法によってトロンビンの変異体を

コードするDNAを作製し、該DNAを哺乳動物細胞などで発現させることによって得られる変異体の中から基質分解活性が低下し、かつ、ヒルジン基質に対する結合能を保持しているものを選択することによって取得することができる。

#### [0023]

本発明の1個又は数個のアミノ酸を置換して得られるトロンビン誘導体は抗血栓、抗炎 症剤として用いる目的において実質的にトロンビン基質分解活性を喪失しており、且つ基 質結合能を野生型トロンビンと同等に保持していれば特に制限されるものではないが、具 体的には、以下に説明される少なくとも活性中心のセリン(B鎖205;配列番号2の2 5 4 番目のセリンに相当するセリン)及びB鎖203のグリシン(配列番号2の252番 目のグリシンに相当するグリシン)が置換された誘導体が望ましい。活性中心のセリンは 、その置換によってエクソサイト1の構造が破壊されてトロンビン基質結合能が損なわな いようにするために、スレオニン、アラニン、グリシンのいずれかに置換されていること が望ましく、グリシンへの置換がより望ましい。また、B鎖203グリシンはアラニン、 セリン、スレオニンのいずれかに置換されている事が望ましい。本明細書中において、B 鎖205、B鎖203等は、B鎖の1番目のアミノ酸(例えば、配列番号2のアミノ酸番 号50のイソロイシン)から数えたアミノ酸番号を示している。なお、上記のような置換 アミノ酸の位置はアミノ酸の欠失、挿入、付加などによって位置が前後することがある。 例えば、N末端部に1つのアミノ酸残基が挿入されれば本来205番目のセリン残基は2 06番目となるが、そのような205番目のセリン残基に相当するセリン残基も、本発明 においては205番目のセリン残基と呼ぶこととする。

#### [0024]

本発明のトロンビン誘導体は、上記置換に加えて、さらに活性中心アスパラギン酸(B鎖99;配列番号2の148番目のアスパラギン酸に相当するアスパラギン酸)が置換されたものであってもよい。また、本発明のトロンビン誘導体は、B鎖の205番目のセリン及び99番目のアスパラギン酸が置換されたものであってもよい。これらの誘導体において、活性中心アスパラギン酸は、アスパラギンに置換されていることが好ましい。

#### [0025]

また、本発明のトロンビン誘導体は、上記置換に加えて、さらに活性中心ヒスチジン(B鎖43;配列番号2の92番目のヒスチジンに相当するヒスチジン)が置換されたものであってもよい。この場合、活性中心ヒスチジンは、アスパラギンに置換されていることが好ましい。

#### [0026]

本発明のトロンビン誘導体は、上記置換に加えて、さらに、ナトリウム結合部位が置換されたトロンビン誘導体であってもよい。ナトリウム結合部位とはBiochemistry 1992年, 31巻, p11721-11730に開示された部位をいう。この中ではB鎖232又はB鎖234のアスパラギン酸(配列番号2の281又は283番目のアスパラギン酸に相当するアスパラギン酸)が好ましい。これらのアスパラギン酸は両方が置換されてもよい。また、これらのアスパラギン酸は、アラニンもしくはアスパラギンに置換されることが好ましい。

#### [0027]

本発明のトロンビン誘導体は、ヒルジンC末端ペプチドへの結合能が野生型トロンビンの1%以上であり、トロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下である限りにおいて、上述した置換されるアミノ酸以外のアミノ酸において、1又は数個のアミノ酸が置換、欠失、挿入、付加されたアミノ酸配列を有する誘導体であってもよい。なお、ここで数個とは、2~20個、好ましくは2~10個、より好ましくは2~5個を意味する。また、ヒルジンC末端ペプチドへの結合能が野生型トロンビンの1%以上、かつトロンビン基質分解活性が野生型トロンビンの100万分の1以下である限りにおいて、配列番号2のアミノ酸配列と全体として一定以上の相同性、すなわち、80%以上、好ましくは90%以上、特に好ましくは95%以上の相同性を有する範囲で改変されたものであってもよい。

#### [0028]

上記のようなトロンビン誘導体は部位特異的変異導入法により各誘導体をコードするDNAを作製し、該DNAを哺乳動物細胞などで発現させることによって得られる。このようなDNAは上述したようにA鎖及びB鎖の両方をコードするものであってもよいし、各鎖をそれぞれ発現させてもよい。部位特異的変異導入法は特に限定されるものではないが、例えば、市販のQuikChange Site-Directed Mutagenesis Kit (ストラタジーン社製)などを用いて行っても良い。また、化学合成によってトロンビン誘導体を得ることもできる。

#### [0029]

本発明のトロンビンはさらに、上記の誘導体のカルボキシル基が修飾されたものであってもよい。この場合、カルボキシル基がカルボジイミドによって修飾されたものが好ましい。カルボキシル基が修飾されることによって、フィブリノゲンに対する結合能が低下するため、トロンビンレセプターなどの基質に対する選択性が増し、より少量で抗血栓効果を達成することができる。トロンビン誘導体のカルボキシル基の修飾は、例えば、国際公開02/077031号バンフレットに記載の方法に基いて行うことができる。

# [0030]

本発明はまた、上述したようなトロンビン誘導体をコードする DNAを提供する。このような DNAとしては、例えば、配列番号 7 又は 1 3 の塩基番号 1 3 0  $\sim$  1 0 5 6 の塩基配列を含む DNAなどを例示することができる。また、上述したようなトロンビン誘導体をコードする限りにおいて、配列番号 7 の塩基番号 1 3 0  $\sim$  1 0 5 6 の塩基配列を含む DNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズするものであってもよい。ここで、ストリンジェントな条件としては、例えば、通常のサザンハイブリダイゼーションの洗いの条件である  $60^{\circ}$   $1\times SSC$ , 0.1%SDS、好ましくは  $0.1\times SSC$ , 0.1%SDS に相当する塩濃度で、1回より好ましくは  $2\sim 3$  回洗浄する条件が挙げられる。

#### $[0\ 0\ 3\ 1]$

本発明のトロンビン誘導体は抗血栓作用を有している。この作用は、例えば、実施例に示すような血漿の部分活性化トロンボプラスチン時間(APTT)測定や全血凝固時間測定によって確認することができる。本発明のトロンビン誘導体を製剤学的に許容される製剤担体と組合わせることにより、医薬組成物として使用することができる。ここで、医薬組成物として好ましくは、抗血栓治療薬、抗炎症剤、トロンビンレセプター活性化抑制剤などを挙げることができる。上記製剤担体は製剤学的に許容されるものであれば特に制限されないが、通常の薬剤に汎用される注射剤用溶剤、安定剤、希釈剤、界面活性剤等を使用できる。本発明の医薬組成物の投与単位形態は特に限定されず、治療目的に応じて適宜選択できる。例えば、注射剤等を例示できる。本発明の医薬組成物の投与量は、症状などに応じて適宜選択される。

#### 【実施例】

# [0032]

以下実施例により本発明を更に詳しく説明するが、本発明はその趣旨を超えない限り、 この実施例の範囲には限定されない。

#### [0033]

< 1 >トロンビン基質分解活性の測定

方法A: 合成基質S2238 (シグマ社)を基質とし、50mMトリス塩酸(pH8)、37℃における405nMの吸光度の増加による測定をおこなった。

被験サンプル(ヒト野生型トロンビンまたはトロンビン誘導体)の $50\,\mathrm{mM}$  トリス塩酸  $0.1\,\mathrm{M}$  NaCl溶液(pH7.4、ヒト野生型トロンビンの場合の濃度は $1\,\mu$  g/ml、トロンビン誘導体の場合の濃度は $200\,\mu$  g/ml)と、合成基質 $S2238050\,\mathrm{mM}$  トリス塩酸  $0.1\,\mathrm{M}$  NaCl溶液(pH7.4)を、それぞれ $200\,\mu$  l ずつエッペンチューブに加え、 $37\,\mathrm{C}$ 、12 時間 インキュベーションした。反応停止は $50\,\mathrm{M}$  酢酸  $200\,\mu$  l を添加して行った

に加え、37℃、12時間インキュベーションしたものをコントロールとした。

12時間インキュベーションした後のコントロールの吸光度は、インキュベーション前に比べて0.005増加した。被験サンプルの12時間インキュベーション終了後の吸光度の増加が、インキュベーション前の吸光度に比べて0.025以下の場合は測定限界以下であると判定した。

方法Aにおいて活性が認められないレベルに活性が低下したトロンビンに関しては、さらに以下の方法Bの活性測定を行った。

[0034]

方法B: $50\,\text{mM}$  トリス塩酸  $0.1\,\text{M}$  NaCl pH7.4に透析した血液凝固XIII因子の $50\,\text{mM}$  トリス塩酸  $0.1\,\text{M}$  NaCl溶液(pH7.4)と、被験サンプル(トロンビン誘導体)の $50\,\text{mM}$  トリス塩酸  $0.1\,\text{M}$  NaCl溶液(pH7.4)を、それぞれ $100\,\mu$ 1ずつエッペンチューブに加え、 $37\,\text{C}$ 、 $3\,\text{F}$  時間インキュベーションした。 $50\,\text{M}$  酢酸  $200\,\mu$ 1を添加して反応を停止した後、 $50\,\text{SPAGE}$  によって血液凝固XIIIの活性化の有無を確認した。 $50\,\text{SPAGE}$  を用い解析比較した。

[0035]

< 2 > 基質結合能の測定法

方法(:ヒルジン(末端ペプチド(配列番号3)への結合性の確認

(1)ヒルジン(末端ペプチドゲルの作製

ヒルジン(末端ペプチド1 0  $\mathbf{m}$   $\mathbf{g}$   $\mathbf{e}$  0 . 1  $\mathbf{M}$   $\mathbf{N}$   $\mathbf{a}$   $\mathbf{H}$   $\mathbf{c}$   $\mathbf{0}$   $\mathbf{g}$   $\mathbf{g}$ 

(2) ヒルジン(末端ペプチド(配列番号3)への結合性の確認

ヒト野生型トロンビンもしくはトロンビン誘導体を含有する分画の2m1を、50mMトリス塩酸 0.15M NaCl pH8 4Cに平衡化したヒルジン(末端ペプチドカラム10m1に添加し、30m1の50mM トリス塩酸緩衝液で洗浄後、50mM トリス塩酸1M NaCl 1M グアニジン塩酸 pH8で溶出した。抗ヒトトロンビンモノクローナル抗体を用いたウェスタンブロッティングにより素通り分画、および溶出分画のトロンビンを確認した。なお、本実験では50%以下の担体への結合の誘導体は基質結合能を喪失していると判断した。

[0036]

方法D:バイオセンサー(IAsys日製産業)を用いたトロンビン誘導体のトロンビンレセプター結合能の測定

(1)トロンビン誘導体固定化キュベットの作製

被験サンプル(トロンビン誘導体)  $0.1 \, \text{ml}$   $0.1 \, \text{mg/ml}$   $10 \, \text{mM}$   $10 \,$ 

(2)約1000、500、200、100、50、25、10nMに調整した トロンビンレセプター細胞外ドメインペプチド(配列番号 4)の50mM リン酸緩衝液 0.15M NaCl 溶液(pH7.4)0.1mlを、(1)で得られたトロンビン誘導体固定化キュベットに加え結合曲線を解析した

解析はFAST fit(日製産業)を用い同社マニュアルに順じて行った。

[0037]

[実施例1]

(1)ヒト野生型トロンビンの発現

[0038]

(2)ヒト野生型トロンビンのエカリンによる活性化及び活性化ヒト野生型トロンビンの ヒルジン(末端ペプチドカラム結合性の確認

得られたヒト野生型トロンビンを $5 \,\mathrm{mg}$ 含む分画約 $1 \,0 \,0 \,\mathrm{ml}$ を $2 \,\mathrm{Jy}$ トルの $5 \,0 \,\mathrm{mM}$ トリス塩酸緩衝液、 $0 \cdot 1 \,5 \,\mathrm{M}$  NaCl,  $5 \,\mathrm{mM}$ 、CaCl $_2$  pH8 溶液に透析した後 エカリン(シグマ社) $1 \,0 \,0$  unitsを加え  $37 \,\mathrm{C}$   $24 \,\mathrm{ft}$ 間インキュベーションした。エカリン処理後の一部を用い方法C記載のヒルジンC末端結合実験を行ったところ、素通り分画にはトロンビンは確認できず、溶出分画にトロンビンのバンドが確認された。

[0039]

(3)ヒト野生型トロンビンの精製

 $[0\ 0\ 4\ 0\ ]$ 

[実施例2]

(1) B鎖203グリシンをアラニンにB鎖205セリンをグリシンに置換したトロンビン (以下 203A205Gトロンビン) の発現

203A205GトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。 203A205Gトロンビン塩基配列を配列番号7に示す。

 $[0\ 0\ 4\ 1\ ]$ 

203A205Gトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例1の(3)の方法に準じて硫酸化セルロファイン、ヒルジンC末端ペプチドカラムによる精製を行った。SDS-PAGE上でほぼ純化された203A205Gトロンビンが約5mg得られた。

[0042]

(2) 203A 205Gトロンビンの基質分解活性測定

(1)で得られた203A205Gトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、インキュベーション後の吸光度の増加はみられなかった。

さらに、203A205Gトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って測定した結果、XIIIのA鎖活性化産物のバンドは確認されなかった。

 $[0\ 0\ 4\ 3]$ 

(3)203A205Gトロンビンのトロンビンレセプターへの結合能の確認

(1)で得られた203A205Gトロンビンのトロンビンレセプターへの結合能を、前述の方法Dに従って測定した。203A205Gトロンビンのトロンビンレセプターの解離定数は $3.2\mu$  Mであった。

#### [0044]

(4) カルボキシル基修飾203A205Gトロンビンの活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)の測定

1 mg/5ml の 203 A 205 G トロンビン/ 50 mM リン酸緩衝液 0.5 M NaCl pH6. 5 m の 0.5 M NaCl pH6. 5 m に 5 m の 0.5 M NaCl pH6. 5 m に 5 m の 0.5 M NaCl pH6. 5 m に 5 m に 5 m の 0.5 m の 0.5 m NaCl pH6. 5 m に 5 m に 5 m の 0.5 m の 0.5 m NaCl pH6. 5 m に 5 m の 0.5 m の 0.5 m NaCl pH6. 5 m に 0.5 m の 0.5 m NaCl pH6. 5 m の 0.5 m の 0.5 m の 0.5 m の 0.5 m NaCl pH6. 0.5 m の 0.5

修飾された203A205Gトロンビン $500\mu$ gを、5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4 1 mlに溶解したものを、標準血漿(国際試薬社)に容量比で1:10 の割合となるように添加し、APTTを測定した。5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4を、標準血漿(国際試薬社)に1:10 (容量比)となるように添加したものをコントロールとし、APTTを測定した。なお、APTT試薬には国際試薬社のものを使用した。その結果、コントロールのAPTTは38秒であったのに対し、カルボキシル基修飾203A205GトロンビンのAPTTは65秒であった

# [0045]

以上より、203A205Gトロンビンは、活性が検出限界以下に低下しているが、基質への結合能は保持していることがわかった。また、APTTの結果から、カルボキシル基修飾203A205Gトロンビンは十分な抗血栓効果を有していることがわかった。

#### [0046]

## [比較例1]

(1) B鎖205セリンをアラニンに置換したトロンビン(以下205Aトロンビン)の発現 205AトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。205A トロンビン塩基配列を配列番号9に示す。

#### $[0\ 0\ 4\ 7\ ]$

205Aトロンビンを実施例1の(1)の方法に準じて発現させた。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例1の(3)の方法に準じ、硫酸化セルロファイン、ヒルジンC末端ペプチドカラムによる精製を行った。SDS-PAGE上 ほぼ純化された205Aトロンビンが約6mg得られた。

#### $[0\ 0\ 4\ 8]$

- (2) 205Aトロンビンの基質分解活性測定
- (1)で得られた205Aトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、205Aトロンビンの基質分解活性は、ヒト野生型トロンビンに比較し約3x1 $0^{-5}$ の活性であった。

さらに、205Aトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って測定した 結果、90%以上のXIIIのA鎖は活性化されていた。

#### [0049]

(3) 205Aトロンビンの活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)の測定 205Aトロンビン $500\,\mu$  gを、5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4 lmlに溶解したものを、標準血漿(国際試薬社)に容量比で1:1 の割合となるように添加し、ATPPを測定した。5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4を、標準血漿(国際試薬社)に1:1 で添加したものをコントロールとし、APTTを測定した。なお、APTT試薬には国際試薬社のものを使用した。その結果、コントロールのAPTTは55秒であったのに対し、205AトロンビンのAPTTは95秒であった。

以上より、205Aトロンビンは活性が残存しており、1分から数分の間に測定するAPTTにおいては抗血栓効果を示すが残存活性試験より生体に投与した場合、205Aトロンビンが代

謝されるまでの時間にトロンビン基質を分解してしまう事が予想された。

[0050]

[比較例2]

(1) B鎖205セリンをスレオニンに置換したトロンビン(以下205Tトロンビン)の発現205TトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。205Tトロンビン塩基配列を配列番号11に示す。

[0051]

205Tトロンビンを実施例 1 の( 1 )の方法で発現させた。実施例 1 の( 2 )の方法に準じてヒルジン C 末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例 1 の( 3 )の方法に準じて硫酸化セルロファイン、ヒルジン C 末端ペプチドカラムによる精製を行った。SDS-PAGE上 ほぼ純化された 205Tトロンビンが約 5 mg 得られた。

[0052]

(2) 205Tトロンビンの基質分解活性測定

(1)で得られた2057トロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、2057トロンビンの基質分解活性は、ヒト野生型トロンビンに比較し約 $2.5 \times 1.0^{-4}$ の活性であった。

さらに、205Tトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って測定した結果、ほぼ全てのXIIIのA鎖は野生型トロンビン同様の活性化を受け、分解された活性化血液凝固XIII因子のバンドが確認された。以上より、205Tトロンビンは活性が残存していることがわかった。

[0053]

[実施例3]

(1) B鎖203グリシンをアラニンにB鎖205セリンをアラニンにB鎖99アスパラギン酸をアスパラギンに置換したトロンビン(203A205A99Nトロンビン)の発現

203A205A99NトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。

203A205A99Nトロンビン塩基配列を配列番号13に示す。

 $[0\ 0\ 5\ 4]$ 

203A205A99Nトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例1の(3)の方法に準じ、硫酸化セルロファイン、ヒルジンC末端ペプチドカラムによる精製を行った。<math>SDS-PAGE上ほぼ純化された203A205A99Nトロンビンが約5mg得られた。

[0055]

(2) 203A 205A99Nトロンビンの基質分解活性測定

(1)で得られた203A205A99Nトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、インキュベーション後の吸光度の増加はみられなかった。

さらに、203A205A99Nトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って 測定した結果、XIIIのA鎖活性化産物のバンドは確認されなかった。

[0056]

(3) 203A205A99Nトロンビン添加血液の全血凝固時間測定

 $203A205A99Nトロンビン<math>500\mu$ gを5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4 1 m 1 に溶解し、採血直後の全血 $500\mu$ lに加え全血凝固時間を測定した。コントロールとして、5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4  $500\mu$ gを採血直後の全血 $500\mu$ lに加え全血凝固時間を測定した。その結果、コントロールでは全血凝固時間が4分30秒であったのに対し、203A205A99N添加血液では7分20秒であった。以上より、203A205A99Nトロンビンは十分な抗血栓効果を有していることがわかった。

[0057]

[比較例3]

(1)B鎖205セリンをバリンに置換したトロンビン(以下205Vトロンビン)の発現

205VトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。205Vトロンビン塩基配列を配列番号15に示す。

[0058]

205Vトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にほぼすべてのトロンビンのバンドが現われ、溶出ピークにはトロンビンのバンドが確認されなかった。これにより、205Vトロンビンは基質結合能が低下していることがわかった。

[0059]

[比較例4]

(1)B鎖205セリンをアスパラギン酸に置換したトロンビン(以下205Dトロンビン)の発現

205DトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。 205Dトロンビン塩基配列を配列番号17に示す。

[0060]

205Dトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にほぼすべてのトロンビンのバンドが現われ、溶出ピークにはトロンビンのバンドが確認されなかった。これにより、205Dトロンビンは基質結合能が低下していることがわかった。

 $[0\ 0\ 6\ 1]$ 

[比較例5]

(1) B鎖205セリンをアスバラギンに置換したトロンビン(以下205Nトロンビン)の発現205NトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。205Nトロンビン塩基配列を配列番号19に示す。

[0062]

205Nトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にほぼすべてのトロンビンのバンドが現われ、溶出ピークにはトロンビンのバンドが確認されなかった。これにより、205Nトロンビンは基質結合能が低下していることがわかった。

 $[0\ 0\ 6\ 3\ ]$ 

[比較例6]

国際公開第01/03740号パンフレットの実施例1記載のアンヒドロトロンビンのトロンビンレセプター結合能の測定を、方法Dにより測定したところ、該アンヒドロトロンビンとトロンビンレセプターの解離定数は $1.2\mu$  Mであった。

 $[0\ 0\ 6\ 4\ ]$ 

[実施例4]

(1) B鎖205セリンをアラニンにB鎖99アスパラギン酸をアスパラギンに置換したトロンビン (205A99Nトロンビン) の発現

205A99NトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。205A99Nトロンビン塩基配列を配列番号21に示す。

 $[0\ 0\ 6\ 5]$ 

205A99Nトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例1の(3)の方法に準じ、硫酸化セルロファイン、ヒルジンC末端ペプチドカラムによる精製を行った。<math>SDS-PAGE上ほぼ純化された205A99Nトロンビンが約5.5mg 得られた。

 $[0\ 0\ 6\ 6\ ]$ 

(2) 205A99Nトロンビンの基質分解活性測定

(1)で得られた205A99Nトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、インキュベーション後の吸光度の増加はみられなかった。

さらに、205A99Nトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って測定した結果、XIIIのA鎖活性化産物のバンドは確認されなかった。

# $[0\ 0\ 6\ 7\ ]$

(3) 205A99Nトロンビンの活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)の測定 205A99Nトロンビン $100\mu$ gを、5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4 1mlに溶解したものを、標準血漿(国際試薬社)に容量比で1:1の割合となるように添加し、ATPPを測定した。5mM PIPES緩衝液 0.15M NaCl pH7.4を、標準血漿(国際試薬社)に1:1で添加したものをコントロールとし、APTTを測定した。なお、APTT試薬には国際試薬社のものを使用した。その結果、コントロールのAPTTは55秒であったのに対し、205A99NトロンビンのAPTTは75秒であった。

以上より205A99Nトロンビンは十分な抗血栓能を有していることが分かった。

#### [0068]

# [実施例5]

(1) B鎖203グリシンをアラニンにB鎖205セリンをアラニンに置換したトロンビン (203A 205Aトロンビン) の発現

203A205AトロンビンのDNAを相当する変異導入プライマーを用いたPCR法にて合成した。 203A205Aトロンビン塩基配列を配列番号23に示す。

#### [0069]

203A205Aトロンビンを実施例1の(1)の方法で発現した。実施例1の(2)の方法に準じてヒルジンC末端ペプチド結合性を確認したところ、素通り分画にはバンドは確認されず、溶出ピークにトロンビン同様のバンドが確認された。引き続き実施例1の(3)の方法に準じ、硫酸化セルロファイン、ヒルジンC末端ペプチドカラムによる精製を行った。<math>SDS-PAGE上ほぼ純化された203A205Aトロンビンが約4mg得られた。

#### [0070]

- (2) 203A205Aトロンビンの基質分解活性測定
- (1)で得られた203A205Aトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Aに従って測定した結果、インキュベーション後の吸光度の増加はみられなかった。

さらに、203A205Aトロンビンのトロンビン基質分解活性を、前述の方法Bに従って測定した結果、XIIIのA鎖活性化産物のバンドは確認されなかった。

203A205AトロンビンはヒルジンC末端ペプチド結合性を有し且つ十分に活性を失っていることが分かった

#### 【産業上の利用可能性】

#### $[0\ 0\ 7\ 1]$

本発明のトロンビン誘導体は、抗血栓剤、抗炎症剤などの医薬として好適に用いることができる。

#### SEQUENCE LISTING

```
<110> Chisso Corporation
       FUJIMORI KOGYO Co., Ltd.
〈120〉 トロンビン誘導体、およびそれを含有する医薬組成物
\langle 130 \rangle P - C 4 0 2 8 5
< 160>
      24
\langle 170 \rangle PatentIn version 3.1
<210>
<211> 927
<212> DNA
<213> Homo sapiens
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 2 2 2 \rangle (1).. (927)
<223>
< 4 0 0 > 1
acc gcc acc agt gag tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc
                                                                          4.8
Thr Ala Thr Ser Glu Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly
1
                 5
                                      1.0
tcg gga gag gca gac tgt ggg ctg cga cct ctg ttc gag aag aag tcg
                                                                           96
Ser Gly Glu Ala Asp Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser
             2 0
                                  2.5
                                                        3.0
ctg gag gac aaa acc gaa aga gag ctc ctg gaa tcc tac atc gac ggg
                                                                          1 4 4
Leu Glu Asp Lys Thr Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly
        35
                              4 ()
                                                   45
cgc att gtg gag ggc tcg gat gca gag atc ggc atg tca cct tgg cag
                                                                          192
Arg Ile Val Glu Gly Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln
    5 0
                         5 5
                                               6 0
gtg atg ctt ttc cgg aag agt ccc cag gag ctg ctg tgt ggg gcc agc
                                                                          2 4 0
Val Met Leu Phe Arg Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser
65
                     7 0
                                           75
                                                                8 0
ctc atc agt gac cgc tgg gtc ctc acc gcc gcc cac tgc ctc ctg tac
                                                                          288
Leu Ile Ser Asp Arg Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr
                 85
                                      90
                                                            95
```

ccg ccc tgg gac aag aac ttc acc gag aat gac ctt ctg gtg cgc att

336

Pro	Pro	Trp	A s p 1 0 0	Lys	Asn	P h e	Thr	G 1 u 1 0 5	Asn	Asp	Leu	Leu	V a 1 1 1 0	Arg	II e	
												g a a G l u 1 2 5				3 8 4
												tgg Trp				4 3 2
												cct Pro				4 8 0
												gag Glu				5 2 8
												ggc Gly				5 7 6
												c a g G l n 2 0 5				6 2 4
												g t c V a l				6 7 2
												g c t A l a				7 2 0
												g a c A s p				7 6 8
												t a t Tyr				8 1 6
												a a a L y s 2 8 5				8 6 4
												a a g L y s				9 1 2

cag ttt gga gag tag Gln Phe Gly Glu 305

< 2 1 0 > 2

<211> 308

< 2 1 2 > PRT

<213> Homo sapiens

< 4 0 0 > 2

Thr Ala Thr Ser Glu Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly
1 10 15

Ser Gly Glu Ala Asp Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser 20 25 30

Leu Glu Asp Lys Thr Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly 35 40 45

Arg Ile Val Glu Gly Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln 50 55

Val Met Leu Phe Arg Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser 65 70 75 80

Leu Ile Ser Asp Arg Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr 85 90 95

Pro Pro Trp Asp Lys Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile 100 105

Gly Lys His Ser Arg Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser 115 120 125

Met Leu Glu Lys Ile Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn 130 135 140

Leu Asp Arg Asp Ile Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe 145 150 150

Ser Asp Tyr Ile His Pro Val Cys Leu Pro Asp Arg Glu Thr Ala Ala 165 170 175

Ser Leu Leu Gln Ala Gly Tyr Lys Gly Arg Val Thr Gly Trp Gly Asn 180 185 190

Leu Lys Glu Thr Trp Thr Ala Asn Val Gly Lys Gly Gln Pro Ser Val

195 200 205

Leu Gln Val Val Asn Leu Pro Ile Val Glu Arg Pro Val Cys Lys Asp 210 215 220

Ser Thr Arg Ile Arg Ile Thr Asp Asn Met Phe Cys Ala Gly Tyr Lys 225 230 230 240

Pro Asp Glu Gly Lys Arg Gly Asp Ala Cys Glu Gly Asp Ser Gly Gly 245 250 255

Pro Phe Val Met Lys Ser Pro Phe Asn Asn Arg Trp Tyr Gln Met Gly 260 270

lle Val Ser Trp Gly Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe 275 280 285

Tyr Thr His Val Phe Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp 290 295 300

Gln Phe Gly Glu 305

< 2 1 0 > 3

< 2 1 1 > 1 0

<212> PRT

<213> Homo sapiens

 $\langle 4 \ 0 \ 0 \rangle$  3

Gly Asp Glu Glu Ile Pro Glu Glu Tyr Leu 1 5 10

< 2 1 0 > 4

<211> 73

<212> PRT

<213> Homo sapiens

< 4 0 0 > 4

Arg Arg Pro Glu Ser Lys Ala Thr Asn Ala Thr Leu Asp Pro Arg Ser 1 10 15

Phe Leu Leu Arg Asn Pro Asn Asp Lys Tyr Glu Pro Phe Trp Glu Asp 20 25 30

Glu Glu Lys Asn Glu Ser Gly Leu Thr Glu Tyr Arg Leu Val Ser Ile 35 40 45

```
5 0
                         5.5
                                              6.0
Asp Ala Ser Gly Tyr Leu Thr Ser Ser
65
                     7.0
<210>
       5
<211> 1056
<212>
      DNA
<213> Homo sapiens
< 2 2 0 >
<221> CDS
      (1)...(1056)
< 2 2 2 >
<223>
< 4 0 0 >
atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct
                                                                          48
Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala
1
                 5
                                      1.0
                                                           1.5
gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag
                                                                          96
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
             20
                                  25
                                                       3.0
caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag
                                                                         144
Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu
                             4 ()
        35
                                                   4.5
                                                                         192
tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc tcg gga gag gca gac
Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp
    5.0
                         5 5
                                              6.0
tgt ggg ctg cga cct ctg ttc gag aag aag tcg ctg gag gac aaa acc
                                                                         2 4 0
Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr
                     7.0
                                          7.5
gaa aga gag ctc ctg gaa tcc tac atc gac ggg cgc att gtg gag ggc
                                                                         288
Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly Arg Ile Val Glu Gly
                 8.5
                                      90
tcg gat gca gag atc ggc atg tca cct tgg cag gtg atg ctt ttc cgg
                                                                         3 3 6
Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg
                                  105
            1 0 0
                                                       1 1 0
                                                                         384
aag agt ccc cag gag ctg ctg tgt ggg gcc agc ctc atc agt gac cgc
Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg
```

120

125

1 1 5

Asn Lys Ser Ser Pro Leu Gln Lys Gln Leu Pro Ala Phe Ile Ser Glu

				g c c A l a												4 3 2	
				a a t A s n												4 8 0	
				с g а Аг g 1 6 5												5 2 8	
				agg Arg												5 7 6	
				ctg Leu												6 2 4	
				c c c P r o												672	
				cgg Arg												7 2 0	
				g g t G l y 2 4 5												7 6 8	
				gag Glu												8 1 6	
				atg Met												8 6 4	
				t g t C y s												9 1 2	
				a a c A s n												9 6 0	
gaa	g g C	t g t	g a c	свв	gat	ggg	a a a	tat	g g c	t t c	t a c	аса	c a t	g t g	t t c	1008	

```
Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe Tyr Thr His Val Phe
                3 2 5
                                    3 3 0
cgc ctg aag aag tgg ata cag aag gtc att gat cag ttt gga gag tag 1056
Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp Gln Phe Gly Glu
           3 4 0
                                3 4 5
                                                    350
< 2 1 0 > 6
<211> 351
<212> PRT
<213> Homo sapiens
< 4 0 0 > 6
Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala
               5
                   1 0
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
                                25
            2.0
Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu
        35
                            4 0
                                                45
Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp
   5 0
                        5 5
                                            6.0
Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr
6 5
                   7 0
                                      7.5
Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly Arg Ile Val Glu Gly
                85
                                    9 0
                                                        95
Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg
                                        110
           1 0 0
                    1 0 5
Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg
                           1.2.0
       1 1 5
Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys
   130
                        135
                                            140
Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg
145
                   150
                                       155
                                                           160
Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser Met Leu Glu Lys Ile
               165
                                   170
                                                      175
Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn Leu Asp Arg Asp Ile
```

185

180

190

```
Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe Ser Asp Tyr Ile His
        195
                               200
                                                     205
Pro Val Cys Leu Pro Asp Arg Glu Thr Ala Ala Ser Leu Leu Gln Ala
    2 1 0
                          2 1 5
                                                220
Gly Tyr Lys Gly Arg Val Thr Gly Trp Gly Asn Leu Lys Glu Thr Trp
225
                      230
                                            235
Thr Ala Asn Val Gly Lys Gly Gln Pro Ser Val Leu Gln Val Val Asn
                 2 4 5
                                        250
Leu Pro Ile Val Glu Arg Pro Val Cys Lys Asp Ser Thr Arg Ile Arg
             260
                                   265
                                                         270
lle Thr Asp Asn Met Phe Cys Ala Gly Tyr Lys Pro Asp Glu Gly Lys
        275
                               280
                                                     285
Arg Gly Asp Ala Cys Glu Gly Asp Ser Gly Gly Pro Phe Val Met Lys
    290
                          295
                                                300
Ser Pro Phe Asn Asn Arg Trp Tyr Gln Met Gly Ile Val Ser Trp Gly
305
                      3 1 0
                                            3 1 5
                                                                  3 2 0
Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe Tyr Thr His Val Phe
                 3 2 5
                                        330
                                                              335
Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp Gln Phe Gly Glu
             3 4 0
                                   3 4 5
                                                         350
\langle 2 \ 1 \ 0 \rangle \qquad 7
<211> 1056
<212> DNA
<213> Homo sapiens
<220>
<221>
       CDS
< 2 2 2 >
      (1)...(1056)
< 2 2 3 >
\langle 4 \ 0 \ 0 \rangle = 7
atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct
                                                                             48
Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala
                 5
1
                                        1 0
                                                              1.5
                                                                             96
gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
             2 0
                                   2.5
                                                         3 0
```

	g c a A l a															1 4 4	
	cag Gln 50															192	
	ggg Gly															2 4 0	
	aga Arg															2 8 8	
	g a t A s p															3 3 6	
	agt Ser															3 8 4	
Trp	g t c V a l 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	His 135	Суѕ	Leu	Leu	Tyr	Pro 140	Pro	Trp	Asp	L y s	4 3 2	
A s n 1 4 5	t t c P h e	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	Leu	Leu	V a l	Arg	I I e 1 5 5	Gly	Lys	His	Ser	A r g 1 6 0	4 8 0	
Thr	agg Arg	Tyr	Glu	Arg 165	Asn	I I e	Glu	Lys	I 1 e 1 7 0	Ser	Met	Leu	Glu	Lys 175	I l e	5 2 8	
Tyr	atc Ile	His	Pro 180	Arg	Tyr	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	I 1 e	5 7 6	
Ala	ctg Leu	Met 195	Lys	Leu	Lys	Lys	Pro 200	V a l	Ala	P h e	Ser	A s p 2 0 5	Tyr	Ile	His	6 2 4	
Pro	gtg Val 210	Суѕ	Leu	Pro	Asp	Arg 215	Glu	Thr	Ala	Ala	S e r 2 2 0	Leu	Leu	Gln	Ala	6 7 2	
gga	t a c	aag	ggg	Сдд	gtg	a c a	ggC	t g g	ggc	аас	ctg	aag	gag	a c g	t g g	7 2 0	

G 1 y 2 2 5	Tyr Ly	s Gly	Arg	V a 1 2 3 0	Thr	G l y	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240	
	gcc aa Ala As														7 6 8
	ccc at Pro II														8 1 6
	act ga Thr As 27	p Asn													8 6 4
	ggg ga Gly As 290														9 1 2
	ccc tt Pro Ph														9 6 0
	ggc tg Gly Cy														1008
	ctg aa Leu Ly													t a g	1 0 5 6
< 2 1 0 < 2 1 1 < 2 1 2 < 2 1 3	1 > 351 2 > PRT	0 sap	i e n s												
< 4 0 (	) > 8														
Met	Ala Hi	s Val	Arg 5	G l y	Leu	Gln	Leu	Pro 10	Gly	Суѕ	Leu	Ala	L e u 1 5	Ala	
Ala	Leu Cy	s Ser 20	L e u	V a l	His	Ser	G 1 n 2 5	His	V a l	Phe	Leu	A 1 a 3 0	Pro	Gln	
Gln	Ala Ar 35	g Ser	Leu	Leu	Gln	Arg 40	V a 1	Arg	Arg	Thr	A 1 a 4 5	Thr	Ser	Glu	
Tyr	Gln Th 50	r Phe	P h e	Asn	Pro 55	Arg	Thr	P h e	Gly	S e r 6 0	G l y	Glu	Ala	Asp	

C y s 6 5	Gly	Leu	Arg	Pro	L e u 7 0	P h e	Glu	Lys	Lys	Ser 75	Leu	Glu	Asp	Lys	T h r 8 0
Glu	Arg	Glu	Leu	L e u 8 5	Glu	Ser	Tyr	I I e	A s p	Gly	Arg	11 e	Val	G I u 9 5	G l y
Ser	Asp	Ala	G l u l 0 0	I I e	Gly	Met	Ser	Pro 105	Trp	Gln	Val	Met	L e u 1 1 0	P h e	Arg
Lys	Ser	Pro 115	Gln	Glu	Leu	L e u	C y s 1 2 0	Gly	Ala	Ser	L e u	I 1 e 1 2 5	Ser	Asp	Arg
Trp	V a l 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	His 135	Суѕ	Leu	Leu	Tyr	P r o	Pro	Trp	Asp	Lуs
A s n 1 4 5	Phe	Thr	Glu	Asn	A s p	Leu	Leu	Val	Arg	I 1 e 1 5 5	Gly	Lys	His	Ser	Arg 160
Thr	Arg	Tyr	Glu	Arg 165	Asn	I 1 e	Glu	Lys	I 1 e 1 7 0	Ser	Met	Leu	Glu	Lys 175	Ile
Tyr	lle	His	Pro 180	Arg	Tyr	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	I l e
Ala	Leu	Met 195	Lys	Leu	Lys	Lys	Pro 200	Val	Ala	P h e	Ser	A s p 2 0 5	Tyr	lle	His
Pro									Ala				Leu	Gln	Ala
G 1 y 2 2 5	Tyr	Lys	Gly	Arg	V a l 2 3 0	Thr	Gly	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240
Thr	Ala	Asn	Val	G 1 y 2 4 5	Lys	Gly	Gln	Pro	S e r 2 5 0	Val	Leu	Gln	Val	V a l 2 5 5	Asn
Leu	Pro	I l e	V a l 2 6 0	Glu	Arg	Pro	Val	C y s 2 6 5	Lys	Asp	Ser	Thr	Arg 270	lle	Arg
lle	Thr	A s <b>p</b> 2 7 5	Asn	Met	P h e	Суѕ	A 1 a 2 8 0	Gly	Tyr	Lys	Pro	A s p 2 8 5	Glu	Gly	Lys
Arg	G l y 2 9 0	Asp	Ala	Суѕ	Glu	A 1 a 2 9 5	Asp	Ala	Gly	Gly	Pro 300	P h e	Val	Met	Lys
Ser 305	Pro	P h e	Asn	Asn	Arg 310	Trp	Tyr	Gln	Met	G 1 y 3 1 5	I I e	V a l	Ser	Trp	G 1 y 3 2 0
Glu	Gly	Суѕ	Asp	Arg	Asp	Gly	Lys	Туr	Gly	P h e	Туr	Thr	H i s	V a l	P h e

3 2 5 3 3 0 3 3 5

< 2 1 0 > 9 <211> 1056 <212> DNA <213> Homo sapiens < 2 2 0 > <221> CDS  $\langle 222 \rangle$  (1).. (1056) < 2 2 3 > < 4 0 0 > atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct 4.8 Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala 1 0 96 gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln 2.0 2.5 3.0 caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag 1 4 4 Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu 35 4 0 4.5 tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc tcg gga gag gca gac 192 Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp 5 0 5 5 6.0 tgt ggg ctg cga cct ctg ttc gag aag tcg ctg gag gac aaa acc 2 4 0 Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr 65 7 0 75 8 0 gaa aga gag ctc ctg gaa tcc tac atc gac ggg cgc att gtg gag ggc 288 Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr lle Asp Gly Arg lle Val Glu Gly 85 90 95 tcg gat gca gag atc ggc atg tca cct tgg cag gtg atg ctt ttc cgg 336 Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg 100 105 110 aag agt ccc cag gag ctg ctg tgt ggg gcc agc ctc atc agt gac cgc 384 Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg 1 1 5 1 2 0 1 2 5

tgg gtc ctc acc gcc gcc cac tgc ctc ctg tac ccg ccc tgg gac aag

4 3 2

Trp	V a 1 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	H i s 1 3 5	Суѕ	Leu	Leu	Туг	Pro 140	Pro	Trp	Asp	L y s	
								g t g V a l								4 8 0
								aag Lys								5 2 8
								c g g A r g 1 8 5								5 7 6
								g t t V a l								6 2 4
								acg Thr								6 7 2
								tgg Trp								7 2 0
								ccc Pro								7 6 8
								t g c C y s 2 6 5								8 1 6
								ggt Gly								8 6 4
								g c t A l a								9 1 2
								c a a G l n								9 6 0
								t a t T y r								1008

cgc ctg aag aag tgg ata cag aag gtc att gat cag ttt gga gag tag 1056 Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp Gln Phe Gly Glu 3 4 0 3 4 5

< 2 1 0 > 1 0

<211> 351

<212> PRT

< 2 1 3 > Homo sapiens

< 4 0 0 > 1.0

Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala 5 1 0

Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln 20 25 3 0

Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu 35 4 ()

Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp 5 0 55 6.0

Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr 65 7.0 75 8 0

Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr lle Asp Gly Arg lle Val Glu Gly 85 90

Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg  $1 \ 0 \ 0$ 105 1 1 0

Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg 1 1 5 1 2 0

Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys 130 135

Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg 155 150 1 4 5

Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser Met Leu Glu Lys Ile 165 170

Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn Leu Asp Arg Asp Ile 180 185 190

Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe Ser Asp Tyr Ile His

195 200 205

Pro Val Cys Leu Pro Asp Arg Glu Thr Ala Ala Ser Leu Leu Gln Ala 2 1 5 2 2 0 2 1 0 Gly Tyr Lys Gly Arg Val Thr Gly Trp Gly Asn Leu Lys Glu Thr Trp 225 2 3 0 235 Thr Ala Asn Val Gly Lys Gly Gln Pro Ser Val Leu Gln Val Val Asn 2 4 5 250 255 Leu Pro Ile Val Glu Arg Pro Val Cys Lys Asp Ser Thr Arg Ile Arg 260 265 2.7.0 lle Thr Asp Asn Met Phe Cys Ala Gly Tyr Lys Pro Asp Glu Gly Lys 275 2.8.0 285 Arg Gly Asp Ala Cys Glu Gly Asp Ala Gly Gly Pro Phe Val Met Lys 290 295 300 Ser Pro Phe Asn Asn Arg Trp Tyr Gln Met Gly Ile Val Ser Trp Gly 305 3 1 0 3 1 5 Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe Tyr Thr His Val Phe 3 2 5 3 3 0 3 3 5 Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp Gln Phe Gly Glu 3 4 0 3 4 5 350 <210> 11 <211> 1056 <212> DNA <213> Homo sapiens < 2 2 0 > <221> CDS (1)...(1056)<222> < 2 2 3 > < 4 0 0 > 1 1 atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct 4.8 Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala 1 5 1 0 15 gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag 96 Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln 20 25 3 0

caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag

144

	2	0	8	6	4	2	0	8	6	4	2	0
	192	2 4 0	288	3 3 6	3 8 4	4 3 2	480	5 2 8	576	6 2 4	672	
Glu												
Ser												
Thr												<i>"</i> 0 <i>"</i>
A 1 a 4 5												0.0.7
Thr												c t a
Arg												116
Arg												000
V a l												tgg
Arg 40												a a c
Gln	сс g Р r о 5 5	t t c P h e	t c c S e r	atg Met	ctg Leu	сас Ніѕ 135	c t t L e u	att Ile	a a c A s n	aag Lys	agg Arg 215	0.00
Leu												a t a
Leu												0 0 0
Ser												
Arg 35												0.0.0
Ala												t o o
Gln												

				agt gtc ctg cag Ser Val Leu Gln 250	
				aag gac tcc acc Lys Asp Ser Thr	
				tac aag cct gat Tyr Lys Pro Asp 285	Glu Gly Lys
				ggg gga ccc ttt Gly Gly Pro Phe 300	
				atg ggc atc gtc Met Gly Ile Val 315	
				ggc ttc tac aca Gly Phe Tyr Thr 330	
				att gat cag ttt Ile Asp Gln Phe	
<210 <211 <212 <213	2 > PRT	s a p i e n s			
< 4 0 0	)> 12				
Met 1	Ala His	Val Arg Gly 5	Leu Gln Leu	Pro Gly Cys Leu 10	Ala Leu Ala 15
Ala	Leu Cys	Ser Leu Val 20	His Ser Gln 25	His Val Phe Leu	Ala Pro Gln 30
Gln	Ala Arg 35	Ser Leu Leu	Gln Arg Val 40	Arg Arg Thr Ala 45	Thr Ser Glu
Tyr	Gln Thr 50	Phe Phe Asn	Pro Arg Thr 55	Phe Gly Ser Gly 60	Glu Ala Asp

Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr

65 7.0 7 5 8 0 Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr lle Asp Gly Arg lle Val Glu Gly 9.0 85 Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg 1 0 0 105 Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg 115 1 2 0 1 2 5 Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys 1 4 0 130 135 Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg 150 155 Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser Met Leu Glu Lys Ile 165 170 Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn Leu Asp Arg Asp Ile 180 185 190 Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe Ser Asp Tyr Ile His 195 200 Pro Val Cys Leu Pro Asp Arg Glu Thr Ala Ala Ser Leu Leu Gln Ala 2 1 0 2 1 5 2 2 0 Gly Tyr Lys Gly Arg Val Thr Gly Trp Gly Asn Leu Lys Glu Thr Trp 2 3 5 2 3 0 225 Thr Ala Asn Val Gly Lys Gly Gln Pro Ser Val Leu Gln Val Val Asn 250 2 4 5 Leu Pro Ile Val Glu Arg Pro Val Cys Lys Asp Ser Thr Arg Ile Arg 260 265 270 lle Thr Asp Asn Met Phe Cys Ala Gly Tyr Lys Pro Asp Glu Gly Lys 2 7 5 280 285

Arg Gly Asp Ala Cys Glu Gly Asp Thr Gly Gly Pro Phe Val Met Lys 2 9 0 2 9 5 3 0 0

Ser Pro Phe Asn Asn Arg Trp Tyr Gln Met Gly Ile Val Ser Trp Gly 3 1 0 3 1 5 305 3 2 0

Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe Tyr Thr His Val Phe 3 2 5 330 3 3 5

<210 <211 <212 <213	> >	1 3 1 0 5 6 D N A H o m o	sap	i e n s						
< 2 2 0 < 2 2 1 < 2 2 2 < 2 2 3	) }	C D S (1)	(10!	56)						
	g C g	13 cac His								4 8
		g tgt 1 Cys								9 6
		cgg Arg 35								1 4 4
		act Thr								192
		ctg Leu								2 4 0
		a gag g Glu								288
		g c a A l a								3 3 6
		c c c c P r o								3 8 4
		ctc Leu								4 3 2

									cgc Arg							480
									a t a I 1 e 1 7 0							5 2 8
									gag Glu							5 7 6
									g c c A l a							6 2 4
									gca Ala							672
									ggc Gly						t g g T r p 2 4 0	7 2 0
									agt Ser 250						a a c A s n	768
									aag Lys							8 1 6
									t a c T y r							8 6 4
									ggg Gly							9 1 2
									atg Met							960
									g g c G l y 3 3 0							1008
СВС	c t g	aag	a a g	t g g	a t a	сав	aag	g t c	a t t	g a t	сав	t t t	gga	gag	t a g	1056

Arg	Leu	Lys	Lys	Trp	Пe	Gln	Lys	V a l	I 1 e	Asp	Gln	Phe	Gly	Glu
			3 4 0					3 4 5					3 5 0	

< 2 1 0 > 1 4

<211> 351

<212> PRT

<213> Homo sapiens

< 4 0 0 > 1 4

Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala 1 5 10

Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln 20 25 30

Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu 35 40 45

Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp 50 55

Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr 65 70 75 80

Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly Arg Ile Val Glu Gly 85 90 95

Ser Asp Ala Glu IIe Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg 100 105

Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg 115 120 125

Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys 130 135 140

Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg 145 150 155 160

Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser Met Leu Glu Lys Ile 165 170 175

Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn Leu Asp Arg Asn Ile 180 185 190

Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe Ser Asp Tyr Ile His 195 200 205

Pro Val Cys	Leu Pro Asp	Arg Glu Thr 215	Ala Ala Ser 220	Leu Leu Gln	Ala
Gly Tyr Lys 225	Gly Arg Val 230	Thr Gly Trp	Gly Asn Leu 235	Lys Glu Thr	Trp 240
Thr Ala Asn	Val Gly Lys 245	Gly Gln Pro	Ser Val Leu 250	Gln Val Val 255	
Leu Pro Ile	Val Glu Arg 260	Pro Val Cys 265	Lys Asp Ser	Thr Arg Ile 270	Arg
Ile Thr Asp 275	Asn Met Phe	Cys Ala Gly 280	Tyr Lys Pro	Asp Glu Gly 285	L y s
Arg Gly Asp 290	Ala Cys Glu	Ala Asp Ala 295	Gly Gly Pro 300	Phe Val Met	Lys
Ser Pro Phe 305	Asn Asn Arg 310	Trp Tyr Gln	Met Gly Ile 315	Val Ser Trp	G 1 y 3 2 0
Glu Gly Cys	Asp Arg Asp 325	Gly Lys Tyr	Gly Phe Tyr 330	Thr His Val	
Arg Leu Lys	Lys Trp Ile 340	Gln Lys Val 345	lle Asp Gln	Phe Gly Glu 350	
<210> 15 <211> 1056 <212> DNA <213> Homo	s a p i e n s				
<220> <221> CDS <222> (1)	(1056)				
			cct ggc tgc Pro Gly Cys 10		
			cat gtg ttc His Val Phe		
			cgg cga acc Arg Arg Thr		

		a c t Thr														192	
		ctg Leu														2 4 0	
		g a g G I u														288	
		g c a A l a														3 3 6	
		c c c c P r o 1 1 5														3 8 4	
		ctc Leu														4 3 2	
		a c c T h r														4 8 0	
		t a c Tyr														5 2 8	
		c a c H i s														5 7 6	
		atg Met 195														6 2 4	
		t g t C y s														6 7 2	
		aag Lys														7 2 0	
a c a	gcc	a a c	g t t	g g t	aag	ggg	c a g	ссс	a g t	g t c	c t g	cag	g t g	g t g	аас	7 6 8	

	Val Gly L 245	ys Gly Gln P	ro Ser Val Leu 250	Gln Val Val Asn 255
		rg Pro Val C	gc aag gac tcc ys Lys Asp Ser 65	
			gt tac aag cct ly Tyr Lys Pro	
			tt ggg gga ccc al Gly Gly Pro 300	
	Asn Asn A		aa atg ggc atc In Met Gly Ile 315	
			at ggc ttc tac yr Gly Phe Tyr 330	
		le Gln Lys V	tc att gat cag al lle Asp Gln 45	
<210> 16 <211> 351 <212> PRT <213> Homo	sapiens			
< 2 1 1 > 3 5 1 < 2 1 2 > P R T	s a p i e n s			
<211> 351 <212> PRT <213> Homo <400> 16		ly Leu Gln L	eu Pro Gly Cys 10	Leu Ala Leu Ala 15
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 16  Met Ala His 1</pre>	Val Arg G 5		10 In His Val Phe	1 5
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 16  Met Ala His 1  Ala Leu Cys</pre>	Val Arg G 5 Ser Leu V 20	al His Ser G 2	10 In His Val Phe 5 al Arg Arg Thr	15 Leu Ala Pro Gln 30
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 16  Met Ala His 1  Ala Leu Cys Gln Ala Arg 35</pre>	Val Arg G 5 Ser Leu V 20 Ser Leu L	al His Ser G 2 eu Gln Arg V 40	10 In His Val Phe 5 al Arg Arg Thr	15 Leu Ala Pro Gln 30 Ala Thr Ser Glu 45

Glu	Arg	Glu	Leu	L e u 8 5	Glu	Ser	Туг	Ile	A s p 9 0	G l y	Arg	Ile	V a 1	G l u 9 5	Gly
Ser	Asp	Ala	G l u 1 0 0	Ile	Gly	Met	Ser	Pro 105	Trp	Gln	V a 1	Met	L e u 1 1 0	Phe	Arg
Lys	Ser	Pro 115	Gln	Glu	Leu	Leu	C y s 1 2 0	G 1 y	Ala	Ser	Leu	I 1 e 1 2 5	Ser	Asp	Arg
Trp	V a 1 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	H i s 1 3 5	Суѕ	L e u	Leu	Tyr	Pro 140	Pro	Trp	Asp	Lys
A s n 1 4 5	P h e	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	Leu	Leu	V a 1	Arg	II e 155	Gly	Lys	His	Ser	Arg 160
Thr	Arg	Tyr	Glu	Arg 165	Asn	I l e	Glu	Lys	I 1 e 1 7 0	Ser	Met	Leu	Glu	L y s 175	I 1 e
Tyr	I 1 e	His	Pro 180	Arg	Tyr	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	I 1 e
Ala	Leu	Met 195	Lys	Leu	Lys	Lys	Pro 200	V a 1	Ala	Phe	Ser	A s p 2 0 5	Туг	Ile	His
Pro	V a 1 2 1 0	Суѕ	Leu	Pro	Asp	Arg 215	Glu	Thr	Ala	Ala	S e r 2 2 0	Leu	Leu	Gln	Ala
G 1 y 2 2 5	Tyr	Lys	Gly	Arg	V a 1 2 3 0	Thr	G l y	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240
Thr	Ala	Asn	V a l	G 1 y 2 4 5	Lys	G 1 y	Gln	Pro	Ser 250	V a 1	Leu	Gln	V a 1	V a 1 2 5 5	Asn
Leu	Pro	Ile	V a 1 2 6 0	Glu	Arg	Pro	Val	C y s 2 6 5	Lys	Asp	Ser	Thr	Arg 270	Ile	Arg
Ile	Thr	A s p 2 7 5	Asn	Met	Phe	Суѕ	A 1 a 2 8 0	G l y	Tyr	Lys	Pro	A s p 2 8 5	Glu	Gly	Lys
Arg	G 1 y 2 9 0	Asp	Ala	Суѕ	Glu	G 1 y 2 9 5	Asp	Ala	Gly	G l y	Pro 300	Phe	V a l	Met	Lys
Ser 305	Pro	Phe	Asn	Asn	Arg 310	Trp	Туг	Gln	Met	G l y 3 l 5	Ile	V a 1	Ser	Trp	G 1 y 3 2 0
Glu	Gly	Суѕ	Asp	Arg 325	Asp	G 1 y	Lys	Tyr	G 1 y 3 3 0	P h e	Туг	Thr	H i s	V a 1 3 3 5	P h e
Arg	Leu	Lys	L y s 3 4 0	Trp	I l e	Gln	Lys	V a 1 3 4 5	Ile	Asp	Gln	P h e	G 1 y 3 5 0	Glu	

```
<210> 17
<211> 1056
< 2 1 2 > DNA
<213> Homo sapiens
< 2 2 0 >
<221> CDS
< 2 2 2 >
      (1)...(1056)
< 2 2 3 >
\langle 4 \ 0 \ 0 \rangle 1 \ 7
atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct
                                                                          48
Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala
                                      1.0
                                                                           96
gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
            2 0
                                  25
caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag
                                                                          1 4 4
Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu
        35
                              4 0
                                                                          192
tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc tcg gga gag gca gac
Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp
    5 0
                         5.5
                                               6 0
tgt ggg ctg cga cct ctg ttc gag aag tcg ctg gag gac aaa acc
                                                                          2 4 0
Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr
65
                     7 0
                                           75
                                                                8.0
gaa aga gag ctc ctg gaa tcc tac atc gac ggg cgc att gtg gag ggc
                                                                          288
Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tvr lle Asp Glv Arg lle Val Glu Glv
                 85
                                      90
                                                            95
tcg gat gca gag atc ggc atg tca cct tgg cag gtg atg ctt ttc cgg
                                                                          3 3 6
Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg
            100
                                  105
                                                       110
aag agt ccc cag gag ctg ctg tgt ggg gcc agc ctc atc agt gac cgc
                                                                          3 8 4
Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg
        115
                              1 2 0
                                                   1 2 5
tgg gtc ctc acc gcc gcc cac tgc ctc ctg tac ccg ccc tgg gac aag
                                                                          4 3 2
Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys
    130
                         135
                                               140
aac ttc acc gag aat gac ctt ctg gtg cgc att ggc aag cac tcc cgc
                                                                         480
```

A s n 1 4 5	P h e	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	L e u	L e u	V a l	Arg	I I e 1 5 5	G 1 y	L y s	H i s	Ser	Arg 160	
														a a g L y s 1 7 5		5 2 8
														g a c A s p		5 7 6
														att Ile		6 2 4
														cag Gln		672
														acg Thr		7 2 0
														g t g V a l 2 5 5		7 6 8
														atc Ile		8 1 6
														ggg Gly		8 6 4
														atg Met		9 1 2
														t g g T r p		9 6 0
														g t g V a l 3 3 5		1 0 0 8
									att Ile					g a g G l u	t a g	1 0 5 6

```
< 2 1 0 > 1 8
<211>
     3 5 1
<212> PRT
<213> Homo sapiens
< 4 0 0 > 1 8
Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala
               5
                              1 0
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
           20
                              25
                                                3 0
Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu
       3 5 4 0
Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp
               5 5
Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr
65
                  7.0
                                  7 5
Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly Arg Ile Val Glu Gly
               85
                                 9.0
Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg
           100
                             105
                                           1 1 0
Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg
      1 1 5
                              1 2 5
Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys
                          1 4 0
   130
       1 3 5
Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg
                          155
                1.5.0
Thr Arg Tyr Glu Arg Asn Ile Glu Lys Ile Ser Met Leu Glu Lys Ile
              165
                                 170
Tyr Ile His Pro Arg Tyr Asn Trp Arg Glu Asn Leu Asp Arg Asp Ile
           180
                             185
                                                190
Ala Leu Met Lys Leu Lys Lys Pro Val Ala Phe Ser Asp Tyr lle His
       195
                          200
                                             205
Pro Val Cys Leu Pro Asp Arg Glu Thr Ala Ala Ser Leu Leu Gln Ala
                      2 1 5
```

2.2.0

2 1 0

Gly Tyr Lys 225	Gly Ai	y a 1 2 3 0	Thr	Gly	Trp	G l y	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240	
Thr Ala Asn	V a 1 G 1 2 4		Gly	Gln	Pro	Ser 250	V a l	Leu	Gln	V a l	V a 1 2 5 5	Asn	
Leu Pro Ile	V a 1 G 1 2 6 0	lu Arg	Pro	V a l	C y s 2 6 5	Lys	Asp	Ser	Thr	Arg 270	I I e	Arg	
lle Thr Asp 275	Asn Me	et Phe		A 1 a 2 8 0	G l y	Tyr	Lys	Pro	A s p 2 8 5	Glu	G l y	L y s	
Arg Gly Asp 290	Ala Cy	s Glu	G l y 2 9 5	Asp	Asp	G l y	G l y	Pro 300	Phe	V a l	Met	L y s	
Ser Pro Phe 305	Asn As	s n A r g 3 1 0	Trp	Tyr	Gln	Met	G l y 3 1 5	I I e	V a l	Ser	Trp	G 1 y 3 2 0	
Glu Gly Cys	Asp Ar		Gly	Lys	Туr	G l y 3 3 0	P h e	Туr	Thr	His	V a 1 3 3 5	Phe	
Arg Leu Lys	Lys Tr 340	·p Ile	Gln	Lys	V a 1 3 4 5	I I e	Asp	Gln	P h e	G l y 3 5 0	Glu		
<210> 19 <211> 1056 <212> DNA <213> Homo	s a p i e r	1 S											
<pre>&lt;211&gt; 1056 &lt;212&gt; DNA &lt;213&gt; Homo &lt;220&gt; &lt;221&gt; CDS</pre>	s a p i e r . (1056)												
<pre>&lt;211&gt; 1056 &lt;212&gt; DNA &lt;213&gt; Homo &lt;220&gt; &lt;221&gt; CDS &lt;222&gt; (1). &lt;223&gt;</pre>	. (1056)		t t g	Сад	ctg	cct	ggC	tgc	ctg	gcc	ctg	g c t	4 8
<pre>&lt;211&gt; 1056 &lt;212&gt; DNA &lt;213&gt; Homo &lt;220&gt; &lt;221&gt; CDS &lt;222&gt; (1). &lt;223&gt;</pre>	. (1056) gtc cs	; a ggc											4 8
<pre>&lt;211&gt; 1056 &lt;212&gt; DNA &lt;213&gt; Homo </pre> <pre>&lt;220&gt; &lt;221&gt; CDS &lt;221&gt; CDS &lt;222&gt; (1). &lt;223&gt; </pre> <pre>&lt;400&gt; 19 atg gcg cac Met Ala His</pre>	gtc cg Val Ar 5	ga ggc g Gly	Leu cac	G I n a g c	Leu cag	Pro 10	Gly gtg	Cys ttc	Leu ctg	Ala gct	Leu 15 cct	Ala cag	4 8 9 6
<pre>&lt;211&gt; 1056 &lt;212&gt; DNA &lt;213&gt; Homo &lt;220&gt; &lt;221&gt; CDS &lt;221&gt; CDS &lt;222&gt; (1). &lt;223&gt; </pre> <pre>&lt;400&gt; 19 atg gcg cac Met Ala His 1  gcc ctg tgt</pre>	gtc cg Val Ar 5 agc ct Ser Le 20	ga ggc g Gly t gtg eu Val	Leu cac His	Gln agc Ser	Leu cag Gln 25	Pro 10 cat His	Gly gtg Val	Cys ttc Phe	Leu ctg Leu	Ala gct Ala 30	Leu 15 cct Pro	Ala cag Gln	

Туг	G 1 n 5 0	Thr	Phe	Phe	Asn	Pro 55	Arg	Thr	Phe	Gly	S e r 6 0	Gly	Glu	Ala	Asp	
			cga Arg													2 4 0
			ctc Leu													288
			g a g G l u 1 0 0													3 3 6
			cag Gln													3 8 4
			a c c T h r													4 3 2
			gag Glu													4 8 0
			g a g G l u		Asn	I 1 e	Glu	Lys								5 2 8
			c c c P r o 1 8 0													5 7 6
			aag Lys													6 2 4
			ctg Leu													6 7 2
			ggg Gly													7 2 0
			g t t V a l													7 6 8

ctg ccc att Leu Pro Ile	gtg gag Val Glu 260							8 1 6
atc act gac lle Thr Asp 275		Phe Cys A						8 6 4
cga ggg gat Arg Gly Asp 290								9 1 2
agc ccc ttt Ser Pro Phe 305	Asn Asn							9 6 0
gaa ggc tgt Glu Gly Cys						His V		1008
cgc ctg aag Arg Leu Lys								1 0 5 6
<210> 20 <211> 351 <212> PRT <213> Homo	sapiens							
<211> 351 <212> PRT	sapiens							
<211> 351 <212> PRT <213> Homo		Gly Leu (	GIn Leu	Pro Gly	Cys Leu		.eu Ala 5	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 20  Met Ala His</pre>	Val Arg 5			1 0		1	5	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 20  Met Ala His 1</pre>	Val Arg 5 Ser Leu 20	Val His S Leu Gln A	Ser Gln 25	10 His Val	Phe Leu	Ala P	5 'ro Gln	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 20  Met Ala His 1  Ala Leu Cys Gln Ala Arg</pre>	Val Arg 5  Ser Leu 20  Ser Leu	Val His S Leu Gln A	Ser Gln 25 Arg Val 40	10 His Val Arg Arg	Phe Leu Thr Ala 45	Ala P 30 Thr S	5 'ro Gln Ser Glu	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 20  Met Ala His 1  Ala Leu Cys  Gln Ala Arg 35  Tyr Gln Thr 50</pre>	Val Arg 5 Ser Leu 20 Ser Leu Phe Phe Arg Pro	Val His S Leu Gln A Asn Pro A 55	Ser Gln 25 Arg Val 40 Arg Thr	10 His Val Arg Arg Phe Gly	Phe Leu Thr Ala 45 Ser Gly 60	Ala P 30 Thr S	5 ro Gln Ser Glu Ala Asp	

Ser	Asp	Ala	G l u 1 0 0	lle	G l y	Met	Ser	Pro 105	Trp	Gln	Val	Met	L e u 1 1 0	P h e	Arg
Lys	Ser	Pro 115	Gln	Glu	Leu	Leu	C y s 1 2 0	Gly	Ala	Ser	Leu	I I e 1 2 5	Ser	Asp	Arg
Trp	V a 1 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	H i s 135	Суѕ	Leu	Leu	Tyr	P r o 1 4 0	Pro	Trp	Asp	Lys
A s n 1 4 5	Phe	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	Leu	Leu	V a l	Arg	IIe 155	Gly	Lys	His	Ser	Arg 160
Thr	Arg	Tyr	Glu	Arg 165	Asn	lle	Glu	Lys	I I e 170	Ser	Met	Leu	Glu	Lys 175	Ile
Туr	I 1 e	His	Pro 180	Arg	Туr	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	Ile
Ala	Leu	Met 195	Lys	Leu	Lys	Lys	Pro 200	V a l	Ala	Phe	Ser	A s p 2 0 5	Tyr	I l e	His
Pro	V a 1 2 1 0	Суѕ	Leu	Pro	Asp	Arg 215	Glu	Thr	Ala	Ala	S e r 2 2 0	Leu	Leu	Gln	Ala
Gly 225	Tyr	Lys	Gly	Arg	V a 1 2 3 0	Thr	Gly	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240
Thr	Ala	Asn	V a l	G l y 2 4 5	Lys	Gly	Gln	Pro	Ser 250	V a l	Leu	Gln	Val	V a 1 2 5 5	Asn
Leu	Pro	I 1 e	V a 1 2 6 0	Glu	Arg	P r o	V a 1	C y s 2 6 5	Lys	Asp	Ser	Thr	Arg 270	Ile	Arg
Ile	Thr	A s p 2 7 5	Asn	Met	Phe	Суѕ	A 1 a 2 8 0	Gly	Туr	Lys	P r o	A s p 2 8 5	Glu	Gly	Lys
Arg	G 1 y 2 9 0	Asp	Ala	Суѕ	Glu	G 1 y 2 9 5	Asp	Asn	Gly	Gly	Pro 300	P h e	V a 1	Met	Lys
Ser 305	Pro	Phe	Asn	Asn	Arg 310	Trp	Туr	Gln	Met	G 1 y 3 1 5	Ile	V a 1	Ser	Trp	G 1 y 3 2 0
Glu	Gly	Суѕ	Asp	Arg 325	Asp	Gly	Lys	Туr	G 1 y 3 3 0	Phe	Tyr	Thr	His	V a 1 3 3 5	P h e
Arg	Leu	Lys	L y s 3 4 0	Trp	Ile	Gln	Lys	V a 1 3 4 5	Ile	Asp	Gln	P h e	G 1 y 3 5 0	Glu	

```
< 2 1 0 > 2 1
<211> 1056
<212> DNA
<213> Homo sapiens
< 2 2 0 >
<221> CDS
\langle 222 \rangle (1).. (1056)
< 2 2 3 >
\langle 4 \ 0 \ 0 \rangle 2 1
atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct
                                                                           4.8
Met Ala His Val Arg Glv Leu Gln Leu Pro Glv Cvs Leu Ala Leu Ala
                 5
]
                                      1.0
                                                            1.5
gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag
                                                                           96
Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln
             20
                                  25
                                                        3 0
caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag
                                                                          1 4 4
Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu
        35
                              4 0
                                                   4.5
tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc tcg gga gag gca gac
                                                                          192
Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp
    5 0
                          5 5
                                               6.0
tgt ggg ctg cga cct ctg ttc gag aag tcg ctg gag gac aaa acc
                                                                          2 4 0
Cys Gly Leu Arg Pro Leu Phe Glu Lys Lys Ser Leu Glu Asp Lys Thr
6.5
                     7.0
                                           7.5
gaa aga gag ctc ctg gaa tcc tac atc gac ggg cgc att gtg gag ggc
                                                                          288
Glu Arg Glu Leu Leu Glu Ser Tyr Ile Asp Gly Arg Ile Val Glu Gly
                 8.5
                                       90
tcg gat gca gag atc ggc atg tca cct tgg cag gtg atg ctt ttc cgg
                                                                          3 3 6
Ser Asp Ala Glu Ile Gly Met Ser Pro Trp Gln Val Met Leu Phe Arg
            1 0 0
                                  105
aag agt ccc cag gag ctg ctg tgt ggg gcc agc ctc atc agt gac cgc
                                                                          384
Lys Ser Pro Gln Glu Leu Leu Cys Gly Ala Ser Leu Ile Ser Asp Arg
        1 1 5
                              120
tgg gtc ctc acc gcc gcc cac tgc ctc ctg tac ccg ccc tgg gac aag
                                                                          4 3 2
Trp Val Leu Thr Ala Ala His Cys Leu Leu Tyr Pro Pro Trp Asp Lys
    130
                          135
aac ttc acc gag aat gac ctt ctg gtg cgc att ggc aag cac tcc cgc
                                                                          480
Asn Phe Thr Glu Asn Asp Leu Leu Val Arg Ile Gly Lys His Ser Arg
1 4 5
                     150
                                           155
                                                                160
```

		c g a A r g 1 6 5							5 2 8
		agg Arg							5 7 6
ctg Leu		ctg Leu							6 2 4
		ccc Pro							672
		cgg Arg						t g g T r p 2 4 0	7 2 0
		g g t G l y 2 4 5						a a c A s n	768
		g a g G l u							8 1 6
		a t g M e t						aaa Lys	8 6 4
		t g t C y s							9 1 2
		a a c A s n							960
		c g g A r g 3 2 5						t t c P h e	1008
		t g g T r p						t a g	1056

<pre>&lt;210&gt; 22 &lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo</pre>	s a p i e n s				
< 4 0 0 > 2 2					
Met Ala His	Val Arg Gly 5	Leu Gln Le	u Pro Gly Cys	Leu Ala Le	
Ala Leu Cys	Ser Leu Val 20	His Ser Gl 25	n His Val Phe	Leu Ala Pi 30	ro Gln
Gln Ala Arg 35	Ser Leu Leu	Gln Arg Va 40	l Arg Arg Thr	Ala Thr Se 45	er Glu
Tyr Gln Thr 50	Phe Phe Asn	Pro Arg Th 55	r Phe Gly Ser 60	Gly Glu Al	la Asp
Cys Gly Leu 65	Arg Pro Leu 70	Phe Glu Ly	s Lys Ser Leu 75	Glu Asp Ly	ys Thr 80
Glu Arg Glu	Leu Leu Glu 85	Ser Tyr Il	e Asp Gly Arg 90	lle Val Gl	
Ser Asp Ala	Glu Ile Gly 100	Met Ser Pr 10	o Trp Gln Val 5	Met Leu Pl	ne Arg
Lys Ser Pro 115	Gln Glu Leu	Leu Cys Gl 120	y Ala Ser Leu	lle Ser As 125	sp Arg
Trp Val Leu 130	Thr Ala Ala	His Cys Le 135	u Leu Tyr Pro 140	Pro Trp As	sp Lys
Asn Phe Thr 145	Glu Asn Asp 150	Leu Leu Va	l Arg Ile Gly 155	Lys His Se	er Arg 160
Thr Arg Tyr	Glu Arg Asn 165	lle Glu Ly	s Ile Ser Met 170	Leu Glu Ly 17	
Tyr Ile His	Pro Arg Tyr 180	Asn Trp Ar	g Glu Asn Leu 5	Asp Arg As	sn Ile
Ala Leu Met 195	Lys Leu Lys	Lys Pro Va 200	l Ala Phe Ser	Asp Tyr II 205	le His
Pro Val Cys 210	Leu Pro Asp	Arg Glu Th 215	r Ala Ala Ser 220	Leu Leu G	ln Ala
Gly Tyr Lys	Gly Arg Val	Thr Gly Tr	p Gly Asn Leu	Lys Glu Th	nr Trp

2 2 5		2 3 0	2 3 5					2 4 0			
Thr Ala Asn Va	al Gly 245		y Gln		Ser 250		L e u	Gln		V a 1 2 5 5	Asn

Leu Pro Ile Val Glu Arg Pro Val Cys Lys Asp Ser Thr Arg Ile Arg 260 265 270

lle Thr Asp Asn Met Phe Cys Ala Gly Tyr Lys Pro Asp Glu Gly Lys 275 280 285

Arg Gly Asp Ala Cys Glu Gly Asp Ala Gly Gly Pro Phe Val Met Lys 290 295 300

Ser Pro Phe Asn Asn Arg Trp Tyr Gln Met Gly Ile Val Ser Trp Gly 305 310 315

Glu Gly Cys Asp Arg Asp Gly Lys Tyr Gly Phe Tyr Thr His Val Phe 325 330 335

Arg Leu Lys Lys Trp Ile Gln Lys Val Ile Asp Gln Phe Gly Glu 340 345 350

<210> 23

<211> 1056

< 2 1 2 > DNA

<213> Homo sapiens

< 2 2 0 >

<221> CDS

 $\langle 222 \rangle$  (1).. (1056)

< 2 2 3 >

<400> 23

atg gcg cac gtc cga ggc ttg cag ctg cct ggc tgc ctg gcc ctg gct Met Ala His Val Arg Gly Leu Gln Leu Pro Gly Cys Leu Ala Leu Ala 1 5 10

gcc ctg tgt agc ctt gtg cac agc cag cat gtg ttc ctg gct cct cag Ala Leu Cys Ser Leu Val His Ser Gln His Val Phe Leu Ala Pro Gln 20 25 30

caa gca cgg tcg ctg ctc cag cgg gtc cgg cga acc gcc acc agt gag 144 Gln Ala Arg Ser Leu Leu Gln Arg Val Arg Arg Thr Ala Thr Ser Glu 35 40 45

48

96

192

tac cag act ttc ttc aat ccg agg acc ttt ggc tcg gga gag gca gac Tyr Gln Thr Phe Phe Asn Pro Arg Thr Phe Gly Ser Gly Glu Ala Asp 50 55

	ggg Gly															2 4 0	
	aga Arg															288	
	g a t A s p															3 3 6	
	agt Ser															3 8 4	
Trp	g t c V a l 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	His 135	Суѕ	Leu	Leu	Tyr	Pro 140	Pro	Trp	Asp	L y s	4 3 2	
A s n 1 4 5	t t c P h e	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	Leu	Leu	V a l	Arg	II e 155	Gly	Lys	His	Ser	Arg 160	480	
Thr	agg Arg	Tyr	Glu	Arg 165	Asn	I I e	Glu	Lys	I I e 170	Ser	Met	Leu	Glu	Lys 175	I l e	5 2 8	
Tyr	atc Ile ctg	His	Pro 180	Arg	Tyr	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	I I e	5 7 6 6 2 4	
Ala	Leu	Met 195	Lys	Leu	Lys	Lys	Pro 200	V a l	Ala	Phe	Ser	A s p 2 0 5	Tyr	I l e	His	672	
Pro	V a l 2 l 0	Суѕ	L e u	Pro	Asp	Arg 215	Glu	Thr	Ala	Ala	S e r 2 2 0	Leu	Leu	Gln	Ala	7 2 0	
G l y 2 2 5	Tyr	Lys	Gly	Arg	V a l 2 3 0	Thr	Gly	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	T r p 2 4 0	7 6 8	
Thr	Ala ccc	Asn	V a l	G 1 y 2 4 5	Lys	Gly	Gln	Pro	Ser 250	V a l	Leu	Gln	Val	V a 1 2 5 5	Asn	8 1 6	
~ • 0	000		0.0	0 4 0	~ 0 0	000	0.0		~ ~ 0	J w 0		~ 0 0	V 0 0	~ • •	· • ·	<b>V 1 V</b>	

Leu Pro Ile	V a l G l u 2 6 0	Arg Pro		Cys L 265	ys Asp	Ser 1		Arg 270	I l e	Arg	
atc act gac lle Thr Asp 275						Pro A					864
cga ggg gat Arg Gly Asp 290											9 1 2
agc ccc ttt Ser Pro Phe 305											960
gaa ggc tgt Glu Gly Cys				Tyr G							008
cgc ctg aag Arg Leu Lys			Lys '				Phe			tag 1	056
	s a p i e n s										
<211> 351 <212> PRT <213> Homo <400> 24											
<211> 351 <212> PRT <213> Homo		Gly Leu	Gln	Leu P		Cys I	L e u		L e u 1 5	A l a	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 24  Met Ala His</pre>	Val Arg 5		Ser	1	0		L e u		15		
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 24  Met Ala His 1</pre>	Val Arg 5 Ser Leu 20	Val His	Ser	l Gln H 25	o is Val	Phe I	L e u	A 1 a 3 0	15 Pro	G 1 n	
<pre>&lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo &lt;400&gt; 24  Met Ala His 1  Ala Leu Cys Gln Ala Arg</pre>	Val Arg 5 Ser Leu 20	Val His Leu Gln	Ser Arg 40	I Gln H 25 Val A	o is Val rg Arg	Phe I	Leu Ala 45	Ala 30 Thr	15 Pro	G 1 n G 1 u	
<pre> &lt;211&gt;</pre>	Val Arg 5  Ser Leu 20  Ser Leu Phe Phe	Val His Leu Gln Asn Pro	Ser Arg 40	Gln H 25 Val A Thr P	o is Val rg Arg he Gly	Phe I Thr A	Leu Ala 45 Gly	Ala 30 Thr Glu	15 Pro Ser	G I u G I u	
<pre> &lt;211&gt; 351 &lt;212&gt; PRT &lt;213&gt; Homo  &lt;400&gt; 24  Met Ala His 1  Ala Leu Cys  Gln Ala Arg 35  Tyr Gln Thr 50  Cys Gly Leu </pre>	Val Arg 5  Ser Leu 20  Phe Phe Arg Pro	Val His Leu Gln Asn Pro 55 Leu Phe 70	Ser Arg 40 Arg	Gln H 25 Val A Thr P Lys L	is Val rg Arg he Gly ys Ser 75 sp Gly	Phe L Thr A Ser (60) Leu (	Leu Ala 45 Gly	Ala 30 Thr Glu	15 Pro Ser	Glu Asp Thr	

Lys	Ser	Pro 115	Gln	Glu	Leu	Leu	C y s 1 2 0	G l y	Ala	Ser	Leu	I I e 1 2 5	Ser	Asp	Arg
Trp	V a 1 1 3 0	Leu	Thr	Ala	Ala	H i s 1 3 5	Суѕ	Leu	Leu	Tyr	P r o	Pro	Trp	Asp	L y s
A s n 1 4 5	P h e	Thr	Glu	Asn	A s p 1 5 0	Leu	Leu	V a 1	Arg	I I e 1 5 5	Gly	Lys	H i s	Ser	Arg 160
Thr	Arg	Туг	Glu	Arg 165	Asn	Ile	Glu	Lys	I 1 e 1 7 0	Ser	Met	Leu	Glu	L y s 175	Ile
Туг	Ile	His	Pro 180	Arg	Туг	Asn	Trp	Arg 185	Glu	Asn	Leu	Asp	Arg 190	Asp	I l e
Ala	Leu	Met 195	L y s	Leu	Lys	Lys	Pro 200	V a 1	Ala	P h e	Ser	A s p 2 0 5	Туг	I l e	His
Pro	V a 1 2 1 0	C y s	Leu	Pro	Asp	Arg 215	Glu	Thr	Ala	Ala	S e r 2 2 0	Leu	Leu	Gln	Ala
G l y 2 2 5	Туг	Lys	Gly	Arg	V a 1 2 3 0	Thr	Gly	Trp	Gly	A s n 2 3 5	Leu	Lys	Glu	Thr	Trp 240
Thr	Ala	Asn	V a l	G l y 2 4 5	Lys	G l y	Gln	Pro	Ser 250	V a l	Leu	Gln	V a 1	V a 1 2 5 5	Asn
Leu	Pro	I l e	V a 1 2 6 0	Glu	Arg	Pro	V a l	C y s 2 6 5	Lys	Asp	Ser	Thr	Arg 270	I l e	Arg
I l e	Thr	A s <b>p</b> 2 7 5	Asn	Met	P h e	Суѕ	A 1 a 2 8 0	Gly	Туг	Lys	Pro	A s p 2 8 5	Glu	Gly	L y s
Arg	G 1 y 2 9 0	Asp	Ala	C y s	Glu	A 1 a 2 9 5	Asp	Ala	Gly	Gly	Pro 300	P h e	V a l	Met	L y s
Ser 305	Pro	P h e	Asn	Asn	Arg 310	Trp	Туг	Gln	Met	G l y 3 l 5	I l e	V a 1	Ser	Trp	G 1 y 3 2 0
Glu	Gly	Суѕ	Asp	Arg 325	Asp	Gly	Lys	Туг	G 1 y 3 3 0	P h e	Туг	Thr	His	V a l 3 3 5	P h e
Arg	Leu	Lys	L y s 3 4 0	Trp	Ile	Gln	Lys	V a 1 3 4 5	Пе	Asp	Gln	P h e	G l y 3 5 0	Glu	

【書類名】要約書

【要約】

【課題】 抗血栓治療薬又は抗炎症治療薬として好適なトロンビン誘導体を提供する。

【解決手段】 トロンビンにアミノ酸置換を導入し、アミノ酸置換トロンビン誘導体の中から基質分解活性が低下し、かつ基質結合能を保持したトロンビン誘導体を選択する。 具体的にはB鎖203グリシン及びB鎖205セリンが置換されたトロンビン誘導体などを選択する。

【選択図】 なし

## 出願人履歴

0000000207119900823

大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号 チッソ株式会社 0000224101 19900830 新規登録 597072349

東京都中央区日本橋馬喰町1丁目4番16号藤森工業株式会社